

国立大学法人

筑波技術大学 産業技術学部

Faculty of Industrial
Technology

2024

聴覚障害者

・視覚障害者のための大学

Tsukuba University of Technology





Faculty of Industrial Technology

ごあいさつ

筑波技術大学 産業技術学部は、聴覚に障害のある学生が工学あるいはデザイン学を学ぶ学部です。令和2年度から、これまでの教育内容である情報科学、機械工学、建築学、デザイン学に加え、障害者当事者の視点からの発想を組み入れた情報保障システム、機器、住環境、デザイン等を設計、開発する技術を学ぶ新しい学問分野として、「支援技術学」を創設しました。

このような専門性の高い内容を身に付けるためには、答えのない問題に対応できる柔軟な応用能力や問題解決能力と、生涯学び続けていくための基礎となる幅広い教養が必要となります。産業技術学部では、皆さんにこうした能力を身につけていただくために、確実に伝わる、伝わる教育環境の整備を心がけています。専任の教員の授業では、教員自らが手話を使い教材を工夫するなど直接的に伝え、外部の先生による授業では、必ず要約筆記字幕を付けるなど、聴覚に障害のある学生が大学教育の内容を確実に履修できる環境を実現しています。この他、自らの障害を理解するための障害関係科目、教員を目指すための教職課程、日本パラスポーツ協会が認定する初級障がい者スポーツ指導員資格の取得、海外協定校への短期滞在型教育プログラムなどを準備しています。最終年次には、学部での教育において積み重ねてきた専門の知識を生かし、他の大学には無いような情報保障などの支援技術に関連した研究ができます。

筑波技術大学から障害者支援を中心とした新しい技術を発信し、発展させていくためには、学生の皆さんとの協働した教育研究が必要となります。主体的に学べる産業技術学部での学修を通じて、自らを取り巻く情報環境を自ら改善していただけるような人材に育てて欲しいと願っています。

国立大学法人 筑波技術大学
産業技術学部 学部長
谷 貴幸

定員と取得可能な学位

[産業技術学部]

	入学定員	収容定員	学位
産業情報学科	35名	140名	学士(工学)
総合デザイン学科	15名	60名	学士(デザイン学)
合 計	50名	200名	

聴覚に障害のある学生が学ぶ

産業技術学部

Contents

2	Topics	新型コロナウイルス感染症への取組
4	Policies	産業技術学部 3つのポリシー
6	Profession	産業情報学科 情報科学コース
8		産業情報学科 先端機械工学コース
10		産業情報学科 建築学コース
12		総合デザイン学科 クリエイティブデザイン学コース
14		産業情報学科/総合デザイン学科 支援技術学コース
16	Education	教職課程
18		教養教育系科目
20	Supports	充実した支援サービス ・障害者高等教育研究支援センター/障害者支援研究部 [聴覚障害部門]
22	Sociality	国際交流
24		社会貢献
26	Campus Life	課外活動
28		施設・イベント
30		私の学生生活
32	Graduates	就職支援・進学
34		卒業生の進路
35		就職活動について
36		【卒業生インタビュー】私は現在…
38		入学に関するお知らせ
40		オープンキャンパス・授業見学会・交通案内

新型コロナウイルス感染症への取組

世界的に猛威を振るう新型コロナウイルス感染症により、社会全体や人々の暮らしに大きな影響が出ました。こうした中、本学では、学生の皆さんの健康と安心を守り、学びの環境を確保することを第一に考え、様々な対策を行いました。ここでは、産業技術学部が行った取組の一部を報告します。

学びを継続する環境を守る

2020・2021年度の産業技術学部では、できる限り対面での授業を前期及び夏季までに行い、11月からはオンラインでの遠隔授業中心とする(一部、必要な実習・研究等は十分な感染防止策を取って対面授業実施)こととしました。

どのような状態にあっても、情報保障に手を抜くことはありません。遠隔授業において、オンライン画面内で教員の口話・手話や資料の提示等をしっかり伝え、学修の質を維持向上させるための取組を、全ての教員が切磋琢磨して行っています。また、チャット等で質問を受け付けたり、授業の理解状況を確認したりすることが、どの学生にとっても満足する授業のためには必要との考えのもと、産業技術学部では遠隔授業のうち大多数が「リアルタイム授業」(直接、教員と学生を生でつなぐ授業)であることも、大きな特徴の一つです。



左上写真は「第20回国際シンポジウム」における講演、右下写真は国際交流講演会「美術館とアクセシビリティ」の様子です。



感染防止対策を実施した自習室

以前から本学では、手話ができない非常勤講師の授業であっても字幕・文字通訳をリアルタイムに付ける情報保障を行っていましたが、これは遠隔授業でさらにその効果を発揮しました。本学では授業担当教員のほか、専門の技術スタッフが情報保障に当たっており、どの授業でも万全の体制を整えています。遠隔情報保障のシステムは、他の高等教育機関に対しても本学から技術提供・支援を行っているところです。

急な生活環境の変化のため、十分な準備ができないまま新年度を迎えた学生も多くいました。そのような学生に対しては、遠隔授業に必要な機材(パソコン、Wi-Fiルーター等)を貸し出し、自宅等の環境に不安のない状態で学修をスタートできるよう取り組みました。また、学内には感染防止対策としてパーテーションで仕切られた自習室が整備されており、遠隔授業への接続や各自の自習に活用することが可能です。

一方、対面での授業が欠かせない実験・実習・研究等の授業では、各種ガイドラインを順守し、十分な換気・教室内の消毒・各人の適切な距離確保など、確実な対策を行っています。この際でも、透明マスクの活用等により教員の口が見えるように、「伝える」工夫と感染対策の両立を常に行っています。

残念ながら、海外研修派遣事業は全てストップとなりましたが、昨年度(2021年度)に続いてオンラインに切り替え、この時期だからこそできる国際交流活動を行いました。米国やロシア、スウェーデンなど諸外国の学生や教員との交流イベントや、語学講座(国際手話、アメリカ手話、ロシア手話など)、また、オーストラリア・イギリス・日本の3ヶ国をつないで国際シンポジウムをオンラインで開催するなど、意欲ある学生が国際コミュニケーションを磨く機会を継続しています。

誰も不利益を受けずに飛躍できるように

急激な経済状況の変化に対応するため、本学では全国の多数の方のご厚志により寄せられた大学基金を活用し、経済的に困窮する学生に生活給付金の支給を行いました。このほか、家計急変世帯を迅速に支援する授業料等減免の制度を本学独自に設け、経済を理由に学びを諦めることがないように取り組んでいます。

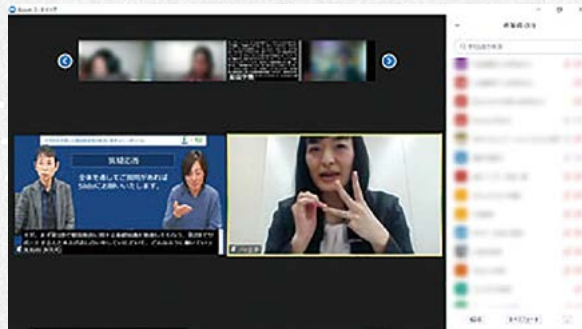
現在、大学生に対しては様々な経済的サポートが用意されています。本

学では各種支援・奨学金の情報をお伝えするとともに、個々の学生の相談に応じ、オンライン・対面等で適切な支援案内を実施し、学生が迷わずに必要な支援が受けられるようにしています。

また、大学生にとっては、経済情勢により卒業後の進路が大きく変化していくことも、懸念材料の一つです。障害を理由にした就職状況悪化を招かないため、本学では聴覚障害学生の採用に実績・理解のある企業等を中心に、

オンラインでの説明会を数多く実施しており、手話等のコミュニケーション手段が難しい企業等の説明に関しても、情報保障を確実に実施しました。

さらに各種セミナー・講演会をオンラインで実施し、就職へのステップを着実に確保しました。遠方にいる学生に対しても、本学キャリア指導担当教員等がオンラインで丁寧にサポートし、このような状況下にあっても自信を持って社会へ羽ばたけるよう、支援を行っています。



就職サポートのため、企業等セミナーを行っています(写真は2020年12月の産学連携シンポジウム)

Pick up news ——— 活躍する学生たち

トウキョウ建築コレクションにて審査員賞受賞

建築系の2、3年生がチームで挑んだトウキョウ建築コレクションプロジェクト展にて、見事審査員賞を受賞しました。

当コンペは、全国の建築学系の研究室及び学生団体が取り組んだ研究やプロジェクトについてのコンペであり、今回は17点の応募があったようです。3月9日、代官山ヒルサイドフォーラムにて、ポスターセッション形式で公開審査が行われ、このうち5点が受賞作品として選定され、見事そのうちの1点として審査員賞「綿引賞」を受賞しました。

応募した内容は、2021年、2022年と2年間にわたって取り組んできた、産業技術学部の食堂改善プロジェクトの一連の成果を取りまとめたものです。「Cafeteria for the Deaf」と題して、聴覚障害者がマジョリティーの大学だからこそ、生まれたアイデア、「聴こえにくさを解消する」のではなく、「聴覚障害者特有の行動や感覚を活かす」デザインをコンセプトに進めたものです。

審査員の方からは、「インクルーシブの流れの中で重要な発見だと思っている。障害があるからこそできる設計というものがどんどん広まると、実は健常者にとっても優しい設計になっていくのではないかな。そういうプロジェクトがこのコンペに出てきたということの評価したいし、何か少しでも住みやすくしていく大きなきっかけがここにあるのではないかな」とのコメントをいただきました。

プロジェクトリーダーとして、審査でプレゼンテーションをした宇山日和さん(支援技術学コース福祉住環境学領域3年生)は「今回、受賞できたのは先生方や同期、後輩たちの助けもあってのことだと思っています。感謝の気持ちを忘れずにこれからも邁進して参ります。」と受賞コメントを残してくれました。本当におめでとうございます。



全国障害者スポーツ大会とちぎ2022にて銅メダル獲得

2022年10月29日 土曜日～31日 月曜日、栃木県で開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」団体競技であるバレーボール競技身体(聴覚)男子に本学バレーボール部が「茨城県チーム」(関東ブロック代表)として参加し、銅メダルを獲得しました。

Startup Weekend Tsukubaにて学生が所属するチームが優勝

2023年2月3日から5日にかけて開催されたスタートアップウィークエンドつくばに産業情報学科支援技術学専攻コース3年の藤江匠汰さんが、チーム「BBB(トリプルビー)」として参加し優勝しました。スタートアップウィークエンドは週末を活用してアイデアを形にするスタートアップ体験イベントで全世界で7000回以上開かれています。藤江さんが参加したチームBBBはパラスキャンという動画で話すだけで本を記録し学びを蓄積するプロダクトを提案し、期間中にプロトタイプを開発しテスト利用した結果とビジネスモデルを発表しました。



産業技術学部

3つのポリシー

Policy

1

ディプロマ・ポリシー

[卒業認定・学位授与方針]

産業技術学部では、聴覚障害者の高等教育機関として、「情報処理」、「ものづくり」、「デザイン」、「支援技術」を通じて共生社会の構築に参画・貢献できる専門職業人の育成を目的とし、本学における教育により以下の能力を身に付けた者に学位を授与します。

修得すべき学修目標

1. 各専門分野の専門知識と専門技術に加え、それらを応用する能力や論理的思考に基づく問題解決能力
2. 論理的思考力と自己表現力に基づく対人コミュニケーション能力を備え、情報化、国際化の発展にも柔軟に対応できる能力
3. 自らの成果を的確に伝える発信力
4. 障害者支援の技術を社会のニーズに応じて実践できる能力

Policy

2

カリキュラム・ポリシー

[教育課程編成・実施の方針]

産業技術学部では、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）において示した知識と技術を学修するため、以下の方針に沿って教育課程を編成します。また、障害に配慮した教育方法・教育環境により、学生一人ひとりが必要な能力を身に付けるよう教育課程を編成します。

教育内容

1. 教養教育系科目の教育においては、学生の多様な知識とものの見方・考え方の涵養と健康づくりを支援するとともに、「生きる力・考える力」の育成をテーマとして、学生が自身の障害の理解に必要な広い視野と教養を身に付けさせる教育課程を編成します。
2. 専門教育系科目では、社会で自立できる高度な専門知識と技術を身に付けることを目標に、学科・コースに対応した産業情報学、総合デザイン学の「専門基礎教育科目」および「専門教育科目」を配置します。学科・コース毎の専門性の高い講義内容の理解を深めるための講義と演習、実験を組み合わせた科目構成により、課題を適切に発見し、問題を解決する力を養います。さらに、プレゼンテーション技法など基礎的な表現手段について実践的に学び、研究成果等を効果的に伝えるための手法を身に付け、4年次の特別研究を通じて自らの研究を伝える発信力を養います。
3. 教員免許取得を希望する学生のために教職課程を設置し、「教育の基礎的理解に関する科目等」、「教科及び教科の指導法に関する科目」、「大学が独自に設定する科目」、「その他の科目」を配置します。教職課程では、①学修の系統性を重視した教育課程の編成、②模擬授業、実習および教育的体験を重視し、これに応じた教育課程の実践、③教育関連法令や学校組織、地域社会における協同に関する学修を促進する教育課程の構築、などの観点を踏まえ、教育課程を編成します。
4. 初年次から卒業年次までを見通した系統的なキャリア教育科目及びインターンシップ系科目を開設します。
5. グローバルな視点の育成のため、国際交流短期留学制度を活用した「異文化コミュニケーション」およびその関連プログラムを実施します。

教育方法の工夫

1. 学生一人ひとりが必要な能力を身に付けられるよう、個々の障害に配慮した教育環境を整備するとともに、聴覚障害に配慮した情報保障を提供します。
2. 障害学生のための教育方法の開発、学修教材の開発、教育システムの整備を進め、自主学修、能動的学修を推進します。
3. 少人数教育の利点を生かしたアクティブラーニングを実践できるように授業の工夫を行います。
4. 1年次よりポートフォリオを活用し、自主学修ができる力、キャリア発達のためのサポートを実施します。

学修成果の評価

学修成果の評価は、授業科目ごとに定めたシラバスにおいて授業内容と方法、達成目標と評価方法を明確に提示するとともに、到達目標の達成度に基づいて厳格に行います。

Policy

3

アドミッション・ポリシー

[入学者受入れの方針]

産業技術学部は工学系とデザイン系の専門分野を持つ学部であり、次のような人を求めています。

1. 大学での学修に必要な基礎学力を有していると共に、支援技術等の新しい分野に挑戦する意欲を持っている人
2. 工学的な事柄に興味を持ち、積極的に学修に取り組む意欲を持っている人、またはデザインに関して基礎的な表現力や発想力、感性、創造性を備えた人
3. 技術者またはデザイナーになりたいという目的意識を持っている人
4. 将来に対する目標を持ち、共生社会の構築に参画貢献しようとする意志を持っている人

入学者選抜方針

産業技術学部では、以下の入試による複数の受験機会を提供します。

- 一般選抜
- 学校推薦型選抜
- 社会人選抜
- 総合型選抜

産業技術学部の入試では、個別学力検査、大学入学共通テスト、面接、小論文、調査書、実技検査、適性検査、プレゼンテーション、総合問題など、多面的な評価による入学者選抜を実施します。

入学までに身に付けて欲しいこと

- 各分野の学修に必要な高等学校課程の基礎学力
- 他の人々との関わり合いの中でのコミュニケーション能力

産業情報学科

情報科学コース

夢やアイデアをカタチにして、
未来を築く技術力

Curriculum Policy

カリキュラムポリシー

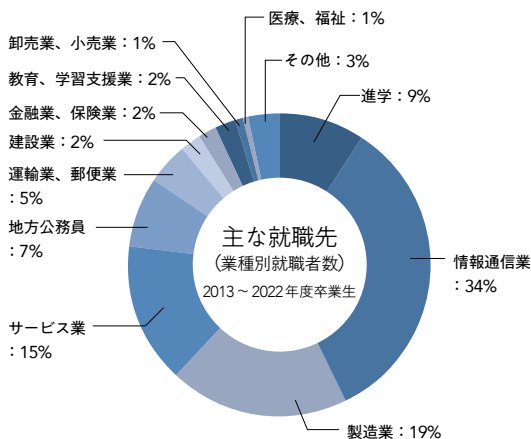
情報科学コースでは、自ら学ぶ目的を常に意識できるようにするため各年次に専門教育科目を配置し、3つの分野（データ処理、ソフトウェア、ハードウェア）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案し、それらを基に柔軟なカリキュラムを提供します。

教育内容

1. 情報科学全般を網羅的に学びながら、データ処理、ソフトウェア、ハードウェアをベースにした演習・実験を通し、4年間の学修の全体像が形成できるようにします。
2. 情報科学全般で必要と思われる基礎的な内容の講義・実験等を必修科目とし、①ソフトウェアモデルで必要とされるソフトウェア工学やプログラミングに関する講義・演習等、②ハードウェアモデルで必要とされる電子回路に関する講義・実験等、③データ処理モデルで必要とされるデータベース設計や情報検索に関する講義・演習等を選択科目として、専門知識修得に必要な基礎を学修します。
3. 自らの目指す将来像を元に各モデルの講義・演習・実験を通してより具体的な知識、技術の獲得を目指します。また、セミナーやプロジェクト形式の授業やキャリア教育から学生自らが積極的に問題を解決できる応用力を養います。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。

- A. グループでのWebアプリ開発 [データベース設計論・演習]
- B. マイコンを用いたドローン制御実験 [産業情報基礎・演習A・B]
- C. LinuxによるWWWサーバの自作 [情報システム統合演習1]
- D. 株価の分析に用いられる時系列分析法の演習 [ビジネスデータ処理論・演習]

Students Voice

学生の声

産業情報学科
情報科学コース2年

飯塚 涼太さん

東京都中央ろう学校 出身

私が筑波技術大学に入学した主な理由は、他の大学よりも情報保障が充実していることと、多くの経験を積むための環境が整っていると感じたためです。私は高校時代までにプログラミングなど情報科学について学んだことはなく、まさに初心者でした。しかし先生方が情報科学に関する知識を分かりやすく親切に教えてくれるし、手話でコミュニケーションを取ってくれるので、気軽に質問でき、情報科学の内容を少しずつ理解することができました。講義では、座学だけではなく他の学生たちと話し合いを行い、その結果を発表するような内容が多くあり、他の学生の考えから新たな視点を得ています。また学内アルバイトも充実しており、貴重な経験を積むのに良い機会になっています。





■ 時間割 (1年)

1学期

月	火	水	木	金
1	日本語表現法A	数学1	コミュニケーションと社会環境	
2	アメリカ手話言語		歴史学	英語A
3	英語A		解析学1	健康・スポーツA
4	産業情報基礎・演習A		統計確率A	情報リテラシー
5	産業情報基礎・演習A		情報数理A	
6				

2学期

月	火	水	木	金	
1	日本語手話言語基礎	日本語表現法B	数学2	【教】教育心理学	コンピュータシステム概論
2	アメリカ手話言語2	情報数理B		英語B	
3	英語B	解析学2		健康・スポーツB	
4	産業情報基礎・演習B		情報保障概論	統計確率B	
5	産業情報基礎・演習B			企業と社会	
6					

■ 時間割 (2年)

1学期

月	火	水	木	金	
1	情報科学概論	英語C	ろう・難聴者の社会参加		幾何学1
2		英語C	健康・スポーツC		日本語テクニカルライティング
3	統計・確率論C				線形代数学1
4				プログラミング演習1	電気回路学・演習1
5				プログラミング演習1	電気回路学・演習1
6	【教】情報科教育法1				特別支援教育

2学期

月	火	水	木	金	
1	応用数学A	プログラミング演習2	【教】教育相談	健康・スポーツD	
2	情報保障技術学・演習	プログラミング演習2	ソフトウェア工学・演習1		幾何学2
3	アルゴリズムとデータ構造	情報保障技術学・演習		ソフトウェア工学・演習1	線形代数学2
4	情報数理C	応用数学B	データベース論・演習		
5		統計・確率論D		データベース論・演習	
6	【教】教育制度論				

※授業名は履修時の名称

産業情報学科

先端機械工学コース

“夢”から“ものづくり”へ導く
科学的な発想力

- A. SEMによるCFRPの観察(写真左)と硬さ試験機による硬さ測定(写真右) [機械工学実験A]
- B. 学生が製作した小型放電加工機による加工実験 [先端機械工学特別研究]
- C. 作図方法の説明 [図学基礎論・演習]
- D. 義手(人差し指のみ)の機構解析 [CAD/CAM演習]

Curriculum Policy

カリキュラムポリシー

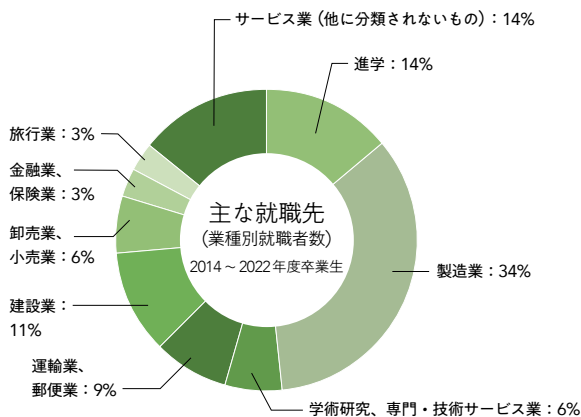
機械工学はあらゆる産業分野で必要とされる基盤的学問分野であり、機械技術者には確かな専門知識とともに各技術分野の特性に応じた柔軟な応用力が要求されます。先端機械工学コースでは、最先端の技術をリードする工学領域として、機械工学の基礎に根ざした学問の系統性を尊重した4力学(材料、振動、熱、流体)の修得、また、機械工学に関する広範な専門知識の修得、さらに現代のものづくりに不可欠なコンピュータ支援技術(CAD/CAM/CAE/CAT)の修得を基軸として学びます。

教育内容

1. 専門知識の修得と実践：機械要素、機械加工法などの専門知識の修得とともに、専門知識に基づいた機械工学実験を実践します。また、実社会で用いられている機械加工を体験することにより専門知識と実際のものづくりとの繋がりについて理解を深めます。さらにグローバル化が進む現代社会に適切できるように技術英語を学修します。
2. 基盤となる工学理論の修得：機械工学を学ぶために必要な力学などの基礎的知識を修得するとともに、普遍的に必要とされる工学理論である4力学(材料、振動、熱、流体)を学修します。さらに、現代社会の急速な変化に対応できるように、プログラミング・計測・制御工学などを学修します。
3. 機械設計技術の修得：機械設計技術者のコミュニケーションツールである設計・製図について、基礎科目として図学、機械設計製図演習などを通じて順次学修します。そのうえで、現代のものづくりの基盤となる、コンピュータ支援設計(CAD)、コンピュータ支援製造(CAM)およびコンピュータ支援解析(CAE)、検査(CAT)技術を活用した応用設計ならびに理論についても実践的に学修します。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。

Students Voice

学生の声

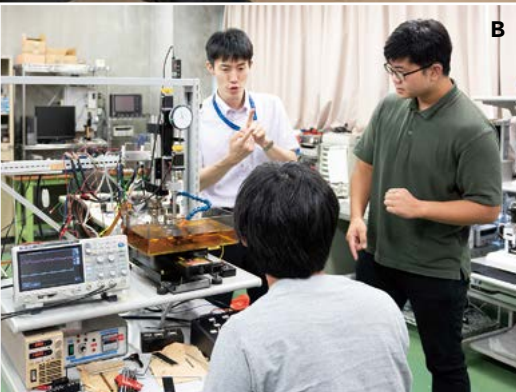
産業情報学科
先端機械工学コース2年

原口隼和さん

東京都立立川ろう学校出身

私が筑波技術大学に志望した理由は、先端機械工学コースのCADとCAEに対して興味があったからです。また、情報保障が充実しており、自分にとって学びやすい環境であることも大きいです。機械工学では、数学や物理を学んだ上で、現代の設計分野に不可欠なコンピュータ支援技術(CAD、CAM、CAE、CAT)に必要な専門知識を身に付けることができます。講義では少人数で講義を受けることが多く、質の高い専門的な内容を学ぶことができます。また、座学だけではなく実習や演習が多く、他の学生と共同作業をしながら学習を進めています。私は、将来機械工学分野の専門職に就きたいと考えており、本学ではCADやCAEを中心に機械工学の知識を深めたいように勉学に励んでいます。





■ 時間割 (1年)

1学期				
月	火	水	木	金
1			コミュニケーションと社会環境	
2	アメリカ手話言語1 英語A	日本語表現法A	哲学	英語A
3	産業情報基礎・演習A	数学1	健康・スポーツA	解析学1
4	産業情報基礎・演習A		統計確率A	情報リテラシー
5			情報数理A	
6				
2学期				
月	火	水	木	金
1	日本手話言語基礎		社会学	コンピュータ概論
2	アメリカ手話言語2	日本語表現法B	法律学	英語B
3	英語B	数学2	健康・スポーツB	
4	産業情報基礎・演習B		情報保障概論	統計確率B
5	産業情報基礎・演習B			企業と社会
6				

■ 時間割 (2年)

1学期				
月	火	水	木	金
1		ろう・難聴者の社会参加		
2	心理学	英語C		聴覚障害教育と心理 健康・スポーツC
3	CAD基礎演習	英語C	機械加工法	
4	図学基礎論		機械加工法実習A	基礎工学実験
5	力学1		機械加工法実習A	基礎工学実験
6				
2学期				
月	火	水	木	金
1		プログラミング演習		
2		プログラミング演習		
3		きこえない人の生活文化		機械加工法実習B
4	機械設計製図演習1	力学2		機械加工法実習B
5	機械設計製図演習1	力学演習		
6				

※授業名は履修時の名称

- A. [地域施設設計演習] の授業
- B. アーチとヴォールト構造の力学的特徴の解説 [一般構造・構法]
- C. 在来軸組工法空き家のリノベーションの検討 [住まいの構法]
- D. 事務所の建築計画 [建築計画B]

産業情報学科

建築学コース

やさしい視点と確かな技術で
建築・まちをつくる

Curriculum Policy

カリキュラムポリシー

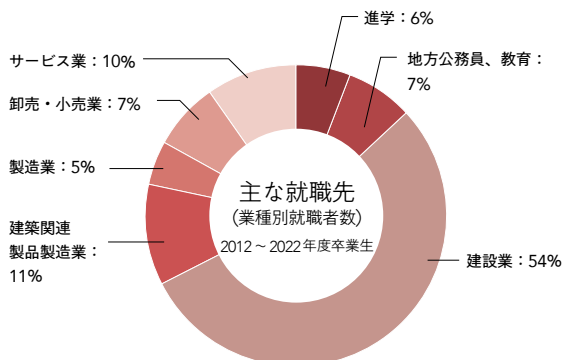
建築学コースでは、建築計画系、構造工学系、環境工学系および建築製図系を基軸とした科目群を系統的かつ横断的に履修することができるカリキュラムとなっています。修得した建築学の知識と技術を通して共生社会に参画・貢献できる専門職業人を養成します。また、所定の科目を履修することにより、一級建築士または二級・木造建築士の受験資格を得ることができます。

教育内容

1. 建築や都市空間などの計画理論とデザイン論から構成される建築計画系科目により、住宅から各種施設における幅広い建築物について適切な空間構成法を学修します。また、人にやさしい建築空間づくりの基礎知識として人間工学等の科目を通して身体や生活行動と環境との関係について学修するほか、建築経済や住宅政策、建築法規など総合的な学びを通じて、居住環境への理解力を養います。
2. 構造工学系科目では、地震や強風時の建物の安全性を評価できるよう、力学的な原理やこの原理に基づいた計算方法を学修します。さらに、コンピュータを活用した安全評価に関する解析方法(CAE)を学修します。
3. 環境工学系科目では、音・光・熱・空気などの環境要素から生活空間の快適性を評価するための理論や計算方法を学修します。また、これらの知識をより深く理解する為、建築実験や演習科目によるアクティブラーニングを行い、さらに、コンピュータを活用した環境評価に関する解析方法(CAE)を学修します。
4. 建築製図系科目では、年次進行に従い住宅から多機能な社会施設に至る多様な建築の設計課題に取り組み、計画理論や構造工学および環境工学の知識を反映させた建築のデザインと構成法を学修します。また、建築製図のみならず、建築模型やモデリングソフトによる3D表現など多彩な建築表現の理論と技術を学修します。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。

Students Voice

学生の声

産業情報学科
建築学コース3年

木村 結衣さん

福島県立聴覚支援学校 出身

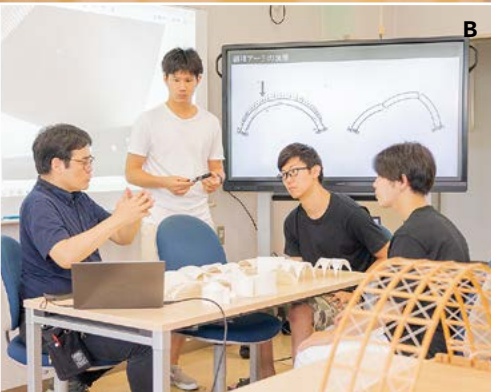
私は現在建築学コースに所属しています。このコースを志望した理由は、建築の専門的な知識に加えて自分の興味のある医療・福祉の分野についても学ぶことができる点を魅力だと感じたからです。さらに、興味のあるテーマ、“災害”や“空き家活用”に関して、学外の勉強会や活動にも積極的に参加しています。健聴の学生や社会人との交流を通して、建築以外にも知識や経験を積み重ねています。

全国から聴覚障害者が集まる本学では、それぞれの学生が住む地域の風土や建築文化についても知ることができ、面白さを感じています。一人一人の聴力は様々ですが、自分に合ったコミュニケーション方法を探し、それを互いに受け止め合い、理解を深めることで、成長に繋がっています。





A



B



C



D

■ 時間割 (2年)

1学期

	月	火	水	木	金
1			ろう・難聴者の社会参加		
2	アメリカ手話言語1	英語C		聴覚障害教育と心理	健康スポーツC
3	住居・住生活論	英語C			建築基礎製図
4	建築計画基礎			環境工学基礎	建築基礎製図
5					建築基礎製図
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1			都市・地域計画論		健康・スポーツD
2	アメリカ手話言語2	建築デザイン論	建築図学		建築デザイン論
3	一般構造・構法			住宅設計演習	熱・空気環境工学1
4	建築構造基礎	建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
5		建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
6					

■ 時間割 (3年)

1学期

	月	火	水	木	金
1			建築材料学	生涯スポーツ	
2	建築法規	設計論			
3		地域施設設計演習A	音・光環境工学1		建築史
4	福祉住環境デザイン論・演習	地域施設設計演習A	構造力学1		建築プレゼンテーション演習A
5	福祉住環境デザイン論・演習	地域施設設計演習A			建築プレゼンテーション演習A
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1					地域住環境設計演習
2	就職活動支援	医療福祉施設設計論			地域住環境設計演習
3	建築生産		建築設備2		地域住環境設計演習
4	建築実験				
5	建築実験				
6					

※授業名は履修時の名称

- A. 3Dプリントによるモデル制作 [プロダクトデザイン論・演習A]
- B. 真鍮靴べらと革ケースの制作 [立体造形論・演習]
- C. ラスタ描画技法 [CG演習]
- D. 情報の可視化手法 [情報デザイン論]

総合デザイン学科

クリエイティブデザイン学コース

デザイン思考で
美と機能をソウゾウする

Curriculum Policy

カリキュラムポリシー

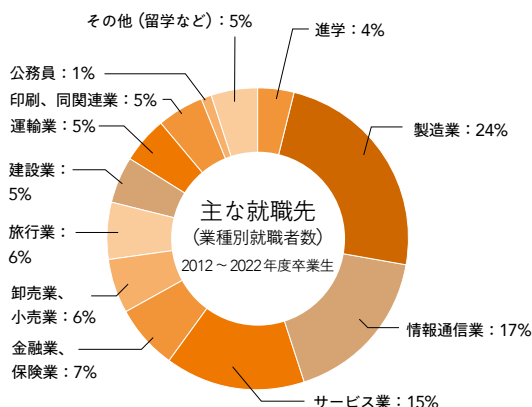
クリエイティブデザイン学コースでは、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）それぞれに重点を置いた履修モデルを提案し、それらを基に柔軟なカリキュラムを提供します。

教育内容

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では各領域の専門内容に特化した概論・演習を通じて、デザインの発散的思考方法と収束的思考方法を学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. デザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、1年次ではデザインの諸分野に関する概論や基礎演習を通じて3つの履修モデルのデザイン分野を体験し、デザインの素養を幅広く身に付けます。2～4年次ではそれぞれの履修モデルに分かれ、テーマに応じた演習科目等を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、デザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

Graduates Data

就職先・進路



※就職先・進路の詳細はP.34をご覧ください。

Students Voice

学生の声

総合デザイン学科
クリエイティブデザイン学コース3年

草次 祐衣さん

愛知県立岡崎雙学校 出身

私が総合デザイン学科を志望した理由は2つあります。一つは、「絵を描くことが好き」という気持ちを発展させ、デザインに関する仕事につなげたいと考えたからです。もう一つは、情報保障が当たり前存在する環境の中で、情報を取りこぼすことなくデザインの専門知識や技術を身につけたいと考えたからです。今、これらの強みを実感しています。また、入学後に実感したこともあります。私はこれまで少人数の雙学校で育ってきました。本学には200人もの聴覚障害学生がいるため、様々な考えを持つ人と交流することができます。専門知識や技術を切磋琢磨できる友人との出会いを通じて、視野が広がったことを実感しています。





A



B



C



D

■ 時間割 (2年)

1学期

	月	火	水	木	金
1	ユニバーサルデザイン論	英語C	ろう・難聴者の社会参加		健康・スポーツC
2	ドイツ語1	英語C	グラフィックデザイン論	聴覚障害教育と心理	情報デザイン論
3				プロダクトデザイン論	
4	平面造形論・演習			立体造形論・演	タイポグラフィ論・演習
5	平面造形論・演習	社会シミュレーション論		立体造形論・演	タイポグラフィ論・演習
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1		日本語テクニカルライティング	情報デザイン基礎論・演習	社会学	
2			情報デザイン基礎論・演習		グラフィックデザイン基礎論・演習
3	プロダクトデザイン基礎論・演習	クリエイティブプログラミング演習		グラフィックデザイン基礎論・演習	
4	プロダクトデザイン基礎論・演習	クリエイティブプログラミング演習		エディトリアルデザイン演習	
5				材料学	エディトリアルデザイン演習
6					

■ 時間割 (3年)

1学期

	月	火	水	木	金
1	マーケティング論・演習				
2	マーケティング論・演習			自分史	ネットワーク論
3	クリエイティブデザイン演習	グラフィックデザイン論・演習A	デザイン学特別講義	人間工学	
4	クリエイティブデザイン演習	グラフィックデザイン論・演習A			グラフィックデザイン論・演習B
5					
6					

2学期

	月	火	水	木	金
1					デザイン史
2	就職活動支援				Webデザイン論・演習
3	管理システム論	グラフィックデザイン論・演習C	デザイン学特別講義		Webデザイン論・演習
4		グラフィックデザイン論・演習C		デザインプレゼンテーション演習	
5				デザインプレゼンテーション演習	
6					

※授業名は履修時の名称

産業情報学科／総合デザイン学科

支援技術学コース

専門領域に新たに加わった
支援技術学

Curriculum Policy

カリキュラムポリシー

[情報保障工学／福祉機器工学／福祉住環境学]

支援技術学コースでは、3つの分野（情報保障工学、福祉機器工学、福祉住環境学）の領域を編成し、それらを基に柔軟かつ横断的なカリキュラムを提供します。

教育内容

1. 情報科学に関する科目および人の支援技術に関する科目を通して、情報保障を科学的に分析し評価する方法ならびに新たな情報保障システムを生み出すための技術について学修します。
2. 幅広い教育系科目を修得するとともに、ものづくりに必要な機械工学の基本的な専門知識や機械設計技術を順次身に付け、それらを実践する力を養います。さらに、福祉機器工学の知識を身に付けることにより、現代における様々な社会環境と人間との調和に貢献できる福祉機器設計について学修し、高度情報化社会に貢献できる新たな価値を創造できる応用力を養います。
3. 住空間や都市空間における障害者や高齢者等などの行動特性について学修できる建築計画系科目と福祉論などの支援技術学系共通科目により、人にやさしい環境のデザイン理論を学びます。また、建築製図系の科目により、それらの建築的表現法を学修します。これらの学修を通し、人間のQOLの向上に寄与するまち・建築・空間を提案できる力を有する人材を養成します。また、所定の科目を履修することにより、二級・木造建築士の受験資格を得ることができます（二級・木造建築士取得後は、将来的に一級建築士にステップアップできます）。
4. 障害支援技術に関する共通科目および領域横断科目を設け、福祉や支援に関わる基礎的な内容を広く学修します。

[アクセシブルデザイン学]

アクセシブルデザイン学コースでは、3つの分野（情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザイン）のデザイン系科目と支援技術に関わる学部横断科目で編成したカリキュラムを提供します。

教育内容

1. 人びとを豊かにするためのデザイン思考を身に付けるため、1年次ではデザインの基礎を、2年次ではデザインの各論を幅広く学び、人とデザインの関係について理解を深めます。3～4年次では情報デザイン、グラフィックデザイン、プロダクトデザインの専門内容に加え、アクセシブルデザイン学に特化した論・演習を通じて、支援技術に関わるデザインを学修します。4年間を通じてデザインプロセス、美的感覚、コラボレーション、オリジナリティに関わる実践的な創造活動を行います。
2. アクセシブルデザインの最適解を導き出そうとする創造性を身に付けるため、障害支援技術に関する共通科目および福祉に関わる基礎的な内容を広く学修します。さらに、人間工学、ヒューマンインタフェースデザイン、アクセシブルデザイン等に関わる専門科目を学修し、問題を発見し解決するための知識と技術を身に付けます。4年次では自ら設定したテーマでデザイン提案を行います。
3. 自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けるため、1～2年次ではプレゼンテーション技法、コンピュータグラフィックスなど基礎的な表現手段について学びます。3年次では企画・立案・デザインを効果的に伝えるための手法を身に付けます。最終学年では、アクセシブルデザイン学特別研究に取り組み、最終成果のプレゼンテーションを行います。4年間を通じて自らのデザインを的確に伝える発信力を身に付けます。

- A. 3Dプリンタによる義手の製作と組立て [支援技術学演習A]
- B. 音声認識ソフトウェアの検証 [情報保障技術と活用]
- C. 鉄道駅におけるバリアフリー検証





Students Voice

学生の声

産業情報学科
支援技術学コース3年
宇山 日和さん

筑波大学附属聴覚特別支援学校 出身

支援技術学コースは横断的領域です。福祉というテーマに対して他の領域と共に勉強できる点が特徴です。情報保障工学、福祉機器工学、福祉住環境学、アクセシブルデザイン学の生徒が一堂に会し、それぞれの領域の知識を組み合わせることで、今までになかった新たな視点が生まれることがあります。充実した議論を成立させるためには、すべての人に同じ量の情報が行き渡っている必要があります。その点で本学は手話や口話、字幕など多様な情報保障があり、同じ障害を持った数多くの学生と共に学ぶことができます。聴覚障がい者が取り残されることがなく、専門的な知識を学び、議論できることは、本学の大きな魅力だと感じています。



■ 時間割 (2年)

1学期					
月	火	水	木	金	
1	ユニバーサルデザイン論	英語C	ろう・難聴者の社会参加		
2	ドイツ語1	英語C			健康・スポーツC
3	住居・住生活論	支援技術学論			建築基礎製図
4	建築計画基礎	支援技術学演習A		環境工学基礎	建築基礎製図
5					建築基礎製図
6					
2学期					
月	火	水	木	金	
1			都市・地域計画論		健康・スポーツD
2	ドイツ語2		建築図学		建築デザイン論
3	一般構造・構法			住宅設計演習	熱・空気環境工学1
4	建築構造基礎	建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
5		建築人間工学論・演習		住宅設計演習	建築CAD演習
6					

■ 時間割 (3年)

1学期					
月	火	水	木	金	
1				ヒューマンインターフェース論	
2	建築法規	設計論	プロダクトデザイン論	自分史	
3			建築設備1	音・光環境工学1	建築史
4	福祉住環境デザイン論・演習			情報保障技術と活用	建築プレゼンテーション演習A
5				支援技術学演習B	
6					
2学期					
月	火	水	木	金	
1				障害者スポーツ	地域住環境設計演習
2	就職活動支援	医療福祉施設計画論			地域住環境設計演習
3	建築生産				地域住環境設計演習
4					
5					
6					

※授業名は履修時の名称

教職課程

障害者高等教育研究支援センター
障害者基礎教育研究部 [教職課程部門]

産業技術学部では、所定の単位を修めることにより教員免許を取得することができます。教職課程の授業は1年生から始まり、原則4年生時に2～3週間(取得免許状によって異なる)の教育実習を行います。

本学で一緒に教員を目指している視覚障害学生との交流、特別支援学校等との交流やボランティア活動、特別支援学校や社会福祉施設での介護等体験、現職教員の講演会等、体験や交流を盛り込んだ活動を4年間を通して用意しています。また、卒業後さらに教育について専門的に学ぶため、他大学の教育関係学部、大学院等への進学を目指す学生も近年増加しています。教職課程は、通常の卒業単位に加えて、さらに多くの授業を取り、教育実習等も行う必要があります。決して簡単な道ではありません。しかし、教育というのは子どもたちの成長を支え、多くの経験や喜びを共にすることができる素晴らしいものです。その喜びと、教師としての責任を考えながら、教職への道を歩んでください。



A. 学内における模擬授業 B. 教育実習風景。実習校の指導の下、指導案や教材も作成します。

時間割例

数学の免許取得を目指す1年生の2学期時間割例です。

	月	火	水	木	金
1時限		英語B	数学2	教育心理学	コンピュータシステム概論
2時限	アメリカ手話言語2	情報数理B	英語B	法律学	
3時限	日本手話言語基礎	日本語表現法B	解析学2		健康・スポーツB
4時限		産業情報基礎・演習B		情報保障概論	統計確率B
5時限		産業情報基礎・演習B			企業と社会
6時限(教職科目のみ)					
集中(休日、長期休暇等)	日本国憲法	教職概論			

※ 教科及び教科の指導法に関する科目、 教育の基礎的理解に関する科目等、 免許法第66条の6に定める科目



学内の授業ではグループワーク等も行います。

Students Voice

学生の声



鈴木裕也さん

産業情報学科情報科学専攻卒
(現 上越教育大学大学院在学)

教員になるという意思を持って教職課程を履修しました。学年が上がるごとに教職に関する科目が増え、教育に関する知識が増えるごとに教員になりたいという気持ちも次第に高まりました。教職課程で数学と情報の教員免許取得を目指しながら、卒業のための学習をするのはかなり忙しいですが、数学をより知ろう、教育についてより知ろうという知的探求心をくすぐられる機会は非常に多いです。教職に関する講義は多く、出前講座や交流会の企画もあるため、教員になるための環境は充実していると感じています。この学部案内を読んでいる皆さんへ、教員になりたいという強い志を持つ方はぜひ教職課程を履修してみてください。

本学部の卒業生が 教員として活躍

2015年度卒業の長谷川ちか子さんが、
特別支援学校高等部で数学を教えています。



長谷川ちか子さん

神奈川県立平塚ろう学校
[産業情報学科情報科学専攻 2015年度卒業]

私は現在、神奈川県立平塚ろう学校の教諭として、高等部で数学と自立活動を担当しています。授業だけでなく、毎日の何気ない会話を大切に、生徒がより楽しく学校生活を送れるように心がけています。教えることの難しさを感じるとともに、どうやったら伝わるかな？と考えたり、同僚と相談しながら業務を進めたりして、日々学んでいます。

筑波技術大学受験のきっかけは、「教員免許を取得すること」と「聴覚障害である自分を受け入れること」でした。高校まで健聴の学校に通っていましたが、聴覚障害のことについてあまり考えずにいました。自分のことや聴覚障害のことについてしっかり知りたくなったときに、筑波技術大学があることを知りました。また、将来は自分の経験を活かした職業に就きたいと考えた時に、児童生徒と関わることのできる教員になりたいと思いました。大学に、教職課程があることも魅力的でした。

大学入学後は、知らないことも多く、驚きの毎日でしたが、初めて手話を覚え、多くの意見交換ができました。親身になってくれる先生や同級生に恵まれ、楽しい4年間を過ごすことができました。

大学卒業後は、特別支援教育についてさらに学びたいと思い、進学しました。筑波技術大学での学びや色々な人の関わりで得たことは、今でも自分の中にあり、活かされていると感じています。

在学中は多くの人と交流し、そのつながりを大切にしてください。自分の経験や考えをたくさん発信してほしいと思います。貴重な4年間を充実したものにしてってください。応援しています。

卒業生の進路[教職関係]

就職：聴覚特別支援学校教員(常勤、非常勤) / 職員(実習助手) /
公立高等学校教員(常勤、非常勤)

進学：上越教育大学大学院 / 兵庫教育大学大学院 / 愛媛大学大学院 /
大阪教育大学特別支援教育専攻科等

4年間の流れ

学年	時期	内容	教職課程科目
1年生	4月	教職課程ガイダンス 教職課程授業開始	教職課程科目 専門(教科)教育科目 教養教育系科目
2年生	6月~2月頃	介護等体験 (特別支援学校2日間、社会福祉施設5日間)	
3年生	4月 4月~7月	教育実習ガイダンス 教育実習先内語活動	
4年生	4月 7月 6月~10月頃 11月 3月	教育実習事前指導 公立学校教員採用試験(私立学校は随時) 教育実習(2週間もしくは3週間) 教員免許状一括申請 学位記授与式・教員免許状交付	

取得可能免許一覧

学科(コース)	免許状の種類及び教科
産業情報学科 情報科学コース 支援技術学コース	中学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(情報)
産業情報学科 先端機械工学コース 建築学コース 支援技術学コース	中学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(数学) 高等学校教諭一種(工業)
総合デザイン学科 クリエイティブデザイン学コース 支援技術学(アクセシブルデザイン学)コース	中学校教諭一種(美術) 高等学校教諭一種(美術) 高等学校教諭一種(工芸)

※特別支援学校教員免許は取得できません。ただし、卒業後他大学や大学院、特別支援教育専攻科などに進学し、特別支援学校教員免許や小学校教員免許などを取ることは可能です。

教養教育系科目

障害者高等教育研究支援センター
障害者基礎教育研究部 [聴覚障害教育実践部門]

障害に配慮した 授業

多様な方法で情報獲得

視覚教材・手話・口話・板書等々、授業では、様々な伝達方法を用いて、内容を伝える工夫がされています。情報バリアのない、分かる実感が得られる授業を提供します。

対話を重視した授業

専任教員は学生に伝わるコミュニケーション方法で直接的に教育します。授業は少人数で、すべての学生が教員と意思疎通しながら学べます。たくさん発言して積極的に学んで下さい。

できる力を養う演習

講義から得た知識を定着させるため、また、間違った理解を修正するためには、体験することが一番です。本学では演習・実習・実験を多数配置し、できる力につながる教育を行っています。

聴覚障害学生に特化した外国語授業

聴覚障害学生に特化した字幕付きのドイツ語・フランス語の授業が受けられます。また、国際的手話コミュニケーション力を伸ばす科目として[アメリカ手話言語1・2]もあります。

分かるまで受けられるサポート

高等学校までの学習が十分でなく、本学の授業についていけない場合でも、一部科目についてはチューター（個人指導者）が放課後などを利用して、マンツーマン指導します。

非常勤講師の授業も分かる

音声のみの非常勤講師の授業では、パソコン要約筆記・リアルタイム字幕提示システムによって文字情報を得ることができます。



少人数指導



A. 講義と実技で自分の身体を理解する「健康・スポーツ」の授業風景 B. きこえない教員による授業 C. 非常勤講師の授業には情報保障が導入

人生の基礎を築く教育

幅広い教養を培う

専門職業人になるためにも、豊かな人生を送るためにも、教養教育は欠かせません。国際化に必要な英語も視覚教材・手話・口話・板書等を用いた授業で深く学べます。

障害を理解する

本学では障害に関して学ぶ科目が多数設置されています。障害を正しく理解することによって、自己を確立し、社会との関わり方が考えられるようになります。

コミュニケーション能力を高める

言語力をさらにのばすための[日本語表現法 A・B][日本語手話言語基礎]が設置されているほか、自分の聴覚障害を理解し、今後のコミュニケーション方法を考える科目が充実しています。

すべては、学生のために

学習面での相談はもとより、生活面での相談も、クラス担当・副担当およびアカデミック・アドバイザー(AA)教員が受け付けます。適宜、保護者と連携して、学生の入学から卒業までを支えます。



板書・手話・口話による授業

教養教育系科目

- 手話コミュニケーション入門・演習
- ろう・難聴者の社会参加
- 聴覚障害教育と心理
- アメリカ手話言語1・2
- ドイツ語
- フランス語
- 英語A・B・C・D
- 日本語表現法A・B
- 健康・スポーツ A・B・C・D
- 修学基礎
- 心理学
- 宇宙地球科学 等

Pick up

教員紹介

小林 洋子 講師

アメリカ手話言語1、2/手話コミュニケーション入門
手話コミュニケーション演習/ろう・難聴者の社会参加
修学基礎

聴覚障害のある人は社会的マイノリティとも言われています。彼たち一人ひとりの生き方や考え、キャリア、そして日本語やアメリカ手話など日本語以外の言語やコミュニケーションについて学び、幅広い視野や教養を身につけることで、多様な価値観を育んでもらえるようにしています。アカデミアにおいては、まだ数少ないきこえない女性教員として、一般企業での研究活動や海外大学院留学、そして現地大学での研究活動などこれまでの経験談も時折交えながら、学生たちが自分らしいキャリア人生を歩んでもらえるようお手伝いできたらと考えています。



充実した支援サービス

障害者高等教育研究支援センター
障害者支援研究部 [聴覚障害部門]

「授業での不便さを解消するため、ノートテイクのサポートを受けられる」最近ではそんな大学も増えてきました。障害のある学生のために専門のコーディネーターを設置したり、障害学生支援室を開設する大学も1つや2つではありません。

でも、将来の夢に向かって一歩ずつ成長しようとする学生にとって、活用したいサービスは、何も授業中の支援のみにとどまらないはず。「大学生活中にもっとコミュニケーションスキルをのびたい!」「いつでもどこでも『分かる』環境がほしい」そんな学生のニーズに応えるため、本学では聴覚障害に対応したきめ細かな指導・サービスを提供しています。

また、ここで培われたノウハウや、本学の最先端の技術は聴覚障害学生支援のための全国ネットワークを通じて、大学・短期大学で学ぶ聴覚障害学生の学習環境改善のためにも役立てられています。

遠隔情報保障システム

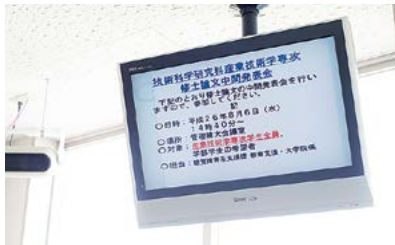
授業の一環で行われる研究所見学などでは、音声のみで説明がなされることもあります。こうした場面でも「分かる」環境を提供するため、手話による通訳の他、パソコンノートテイクや音声認識と組み合わせて使用できるシステムを技術開発・利用しています。



遠隔情報保障システム FTAC Caption2

目で分かる連絡・広報

通常、音声で伝えられる連絡・広報も、本学では視覚を活用した形で提示されています。学内には74箇所にCATVモニタが設置されており、授業の予定変更やさまざまな連絡はここに表示されます。また、非常時には音や光による警報があります。いつ・どこにいても情報を逃すことはありません。



CATVモニタ

字幕入りビデオ教材

授業で学習した内容をもっと深く理解したい。そんな時には、図書館に配架された字幕入りビデオ教材を活用することができます。これらの字幕は本学で開発された字幕挿入システムによって作成されたもので、現在までに約1110本の教材が作成されています。



字幕挿入システム

発音・コミュニケーション指導

学生一人ひとりのニーズやコミュニケーション特性にあわせて、発音やスピーチ、コミュニケーションに関する指導を受けることができます。また、3~4年次の就職活動の際には、就職面接にあわせたコミュニケーション指導も提供されており、社会に出る前の準備も万端に整えられます。



発音・コミュニケーション指導

手話・コミュニケーション指導

手話が分からない学生は、入学時友達とのコミュニケーションに不安を抱がちです。こうした不安を一刻も早く取り除くため、1年次の必修科目として手話の指導が行われています。また、手話学習やコミュニケーション上の悩みを感じている学生に対しては、マンツーマンによる助言指導を行っています。



手話コミュニケーション指導

きめ細かな就職支援

聴覚障害学生にとって、卒業後どんな職場に就けるかは大きな不安の一つです。本学では、学生および卒業生に対して就職模擬試験や面接・職場実習・職場適応に関する指導や支援を行っています。また、企業との連携を深めるための取り組みや、卒業生の職場適応に関する相談も行っています。



就職活動に関する個別相談

聴覚管理・補聴相談

聴覚を活用している学生にとって、残存聴力の低下や「きこえ」の変動は大きな不安をとまなうものです。本学では、これまで活用してきた聴力を維持し、よりよい「きこえ」の状態を保つことができるよう、一人ひとりの聴覚管理を行っています。また、聴覚障害学生が自ら「きこえ」の程度を把握し、補聴器及び補聴システムの自己管理ができるようになるために、きめ細かな活用支援を行っています。



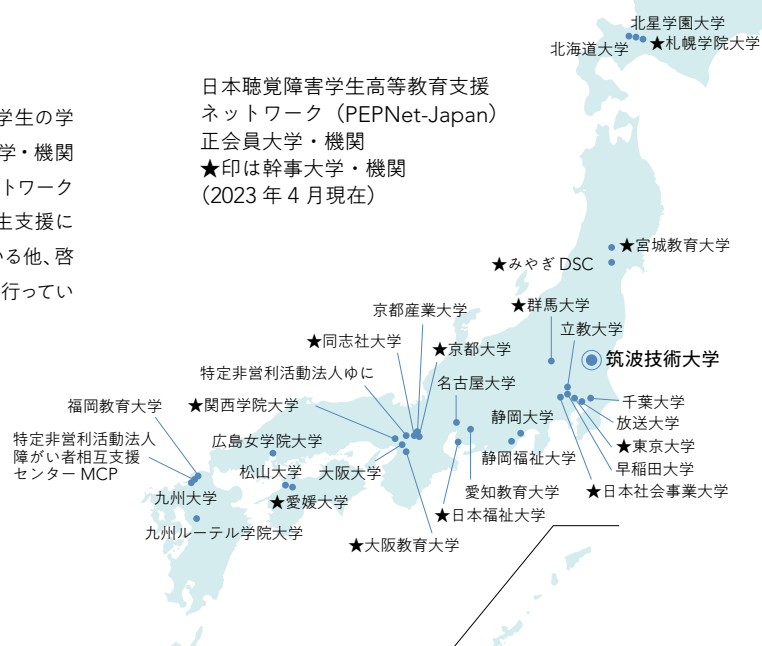
聴覚障害学生支援ネットワーク拠点

本学では、他大学・短期大学で学ぶ聴覚障害学生の学習環境整備のため、積極的に支援を行っている大学・機関に呼びかけ、日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan) を構築しています。聴覚障害学生支援に関する大学教職員等からの問い合わせに対応している他、啓発教材の開発やシンポジウム・研修会の開催などを行っています。



オンラインを活用したシンポジウム・研修会の実施

日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク (PEPNet-Japan)
正会員大学・機関
★印は幹事大学・機関
(2023年4月現在)



国際交流

世界の障害者のための大学と交流協定を結び研究者や学生の交流等を進めています。本学では特設授業科目「異文化コミュニケーション」を設けました。希望者から選抜された学生が世界の協定校に短期留学（8日間）し、専門の科目を現地の学生と一緒に受講するという科目です。選ばれた学生には派遣のための支援を大学の基金等から行っています。授業を受け、学園生活をともにし、国際理解を深めながら文化体験をする中で視野を広げ、自らの学習への取り組みや将来の目標を考える良いチャンスになっています。

2018年度は米国のロチェスター工科大学・国立聾工科大学、国立韓国福祉大学などに本学教員の引率により学生が派遣されています。



学生交流の様子（レクリエーションの合間にゲームを楽しむ学生達）



ロシアのパウマン記念モスクワ国立工科大学で金属の腐食の実験



ロチェスター工科大学訪問時に開催されたホームパーティ



学生交流の様子（ロチェスター工科大学の学生たちと）

Message

産業情報学科システム工学専攻

亀田 怜史さん

2018年度3月アメリカ研修参加

米国東部研修としてニューヨーク州ロチェスター市で約1週間滞在しました。ロチェスター工科大学に通うろう学生、聴こえる学生、手話を学ぶ学生、教員、情報保障担当の職員など非常にたくさんの人と交流をすることができました。筑波技術大学、日本のことについて紹介したりアメリカの文化などを実際に体験したりと貴重な学びをたくさん得て、自分の人生に大きな変化を与えました。様々な国籍、多様なバックグラウンド、価値観、いろいろなアイデンティティがあるアメリカの地での研修は、自分がろう者として生きるための道を考える大きな一歩となり、これからどうしていきたいのかをはっきりさせていくことができました。日本では決して経験することのできない、貴重な学びを経験をさせてもらいました。



地図内の◎印は大学間交流協定に基づく産業技術学部の学術交流協定校です。また、●印は保健科学部において実施された海外研修先です。



国立韓国福祉大学でユニバーサルデザイン学科の授業における高齢者体験



パウマン記念モスクワ国立工科大学の博物館を見学

大学間交流協定に基づく国際交流参加費用[2019年度の場合]

授業科目等	期間	研修先	費用
異文化コミュニケーションA・F	約11日間	韓国	約15万円
異文化コミュニケーションB・G	約11日間	米国	約35万円
異文化コミュニケーションE・J	約11日間	ロシア	約30万円

※筑波技術大学基金と日本学生支援機構からあわせて諸費用の半額程度の助成制度あり。



ロチェスター工科大学の学生との集合写真



アジアンデフクラブのサインの前で



第20回国際シンポジウム (オンライン)



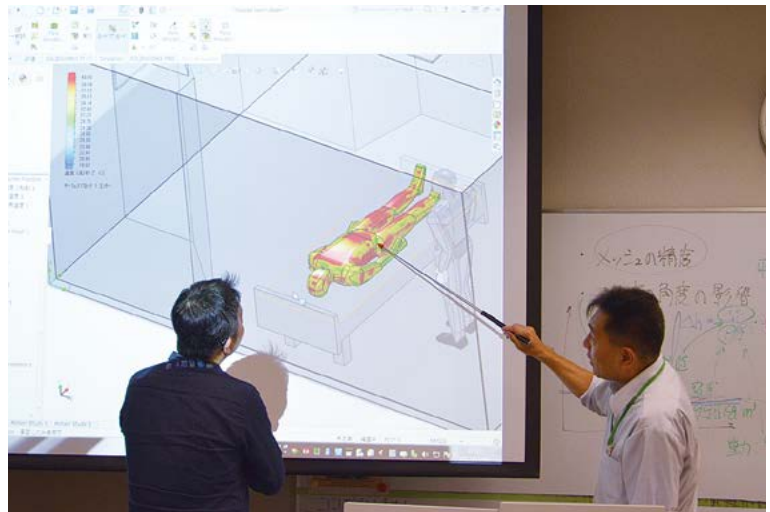
Step into the futureでの研究発表

【参考】2018年度アメリカ東部 (ロチェスター工科大学) 研修の日程

- 3/ 1 (金) 出国、成田→米国・ロチェスター着
- 3/ 2 (土) 学生顔合わせ・交流・バディガイダンス
- 3/ 3 (日) ロチェスター市内見学 (歴史、文化施設等)
- 3/ 4 (月) ロチェスター工科大学 ガイダンス、学内見学・研修
- 3/ 5 (火) ロチェスター工科大学 授業参加・研修
- 3/ 6 (水) 日本文化・日本手話に関するワークショップ開催
- 3/ 7 (木) 聴覚障害学生支援関連施設見学
- 3/ 8 (金) 聴覚障害学生支援関連施設見学
- 3/ 9 (土) ロチェスター工科大学 学生交流
- 3/10 (日) 帰国、ロチェスター発
- 3/11 (月) 帰国、成田空港着

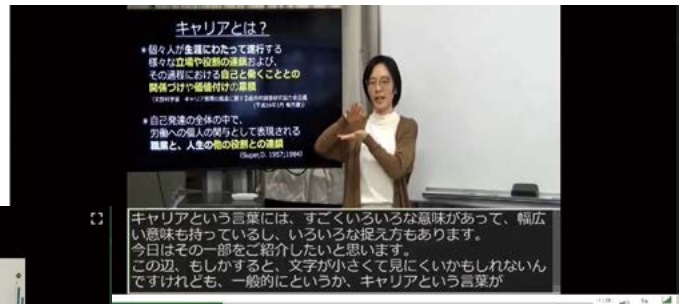
学び直し (リカレント教育) ◇◇◇◇

本学では、聴覚に障害のある社会人の方を対象としたリカレント教育に力を入れています。「社会人学び直しプログラム」では、プログラム内容や実施期間等を受講希望者のニーズに合わせて柔軟に調整しながら、教員自ら行う手話やプロジェクタ、直接指導等による視覚的実践の情報保障のある環境で、企業や社会において必要な知識や技術を学ぶ機会を提供します。その他にも、学外機関からの助成等を受けて様々な講座を企画しており、録画配信等により多様な受講スタイルに対応できる形を目指しています。60時間以上履修した受講者に対して本学から履修証明書を発行する、「履修証明プログラム」として開講することもあります。



社会人学び直しの授業

※「社会人学び直しプログラム」の詳しい内容はこちら。
https://www.tsukuba-tech.ac.jp/social_contribution/relearning/index.html



社会人向けオンライン講座の様子

ユニバーサルデザイン研修 ◇◇◇◇

産業技術学部の各専門分野で学んでいる知識・技術を生かし、授業科目の一環として、「つくば市職員ユニバーサルデザイン研修」の一部講座の計画立案・実施・評価を行っています。この研修は、つくば市から委託されている事業であり、つくば市職員を対象に毎年行われています。写真は市職員と本学の聴覚障害学生とのコミュニケーション体験の様子です。



市役所職員に対する説明

Campus Life

課外活動



NTUTバレーボール部



軟式野球部



バスケットボールサークル



NTUT 陸上競技部



フットサルサークル



卓球部



BADMINTOX (バドミントン部)



ハンドボールサークル



テニスサークル



サッカー部



押し活サークル

服飾サークル

アウトドアサークル

T-TDS (聴覚筑波障がい研究会)

部活動・
サークル活動

課外活動は、豊かで幅広い人間性を育成するうえで、有意義な活動です。友人同士や仲間同士で3名集まると、新しいサークルを作ることができます。

体育・課外
活動施設

武道場・トレーニング室を備えた体育館、グラウンド、テニスコート等があります。これらの施設は、課外活動等で利用することができます。



Deaf Studies Club



ゲームサークル「ゲームランド」

Pick up
ピックアップ

第24回夏季デフリンピック
(2022カシアスドスル)

2022年5月1日よりブラジルカシアスドスルにおいて第24回夏季デフリンピック競技大会が開催されました。バドミントン団体戦にて銀メダルに貢献した沼倉千紘選手、沼倉昌明選手や、柔道の蒲生和麻選手、サッカーの岩淵亜依選手、バレーボールの加賀充選手など、数多くの本学卒業生が出場しました。コロナ禍による活動制限や影響による5月11日以降の出場辞退にも関わらず、日本選手団は金12、銀8、銅10、過去最高のメダル数を獲得しました。



蒲生選手 [産業情報学科情報科学専攻2017年度卒業]

活動日・時間 (2023年3月現在)

団体名	月	火	水	木	金	土	日
NTUTバレーボール部 (★はサークル活動)		17:00-21:00				9:00-13:00 13:00~17:00★	
軟式野球部	14:30-17:00		14:30-20:00			9:00-18:00	
バスケットボールサークル	19:00-21:00		17:00-21:00				
NTUT陸上サークル		17:00-19:00		19:00-21:00			不定期
アウトドアサークル	不定期						
フットサルサークル				18:30-20:30			
卓球部	17:00-19:00				17:00-21:00		13:00-17:00
BADMINTOX (バドミントン部)						17:00-21:00	
サッカー部	(来年度休部の可能性あり)						
ハンドボールサークル				17:00-21:00			
テニスサークル							13:00-15:00
T-TDS (聴覚筑波障がい研究会)				不定期			
押し活サークル	不定期						
服飾サークル	不定期						
Deaf Studies Club	不定期 (2週間に1回ベース) 19:00-21:00						
ゲームサークル「ゲームランド」	18:00-20:00				18:00-20:00		

Campus Life

施設・イベント

共用棟

共用棟館内には、学生一人ひとりのメールボックス・学生のための集客室・寄宿舎居住者用男子浴室（女子は寄宿舎内）・会議室・和室があります。夜間及び休日等の対応のために、共用棟に事務室を置き、本学委託の管理業務者が勤務をしています。夜間（24時以降翌朝7時まで）でも緊急時に対応できる体制を整えています。



その他の施設



実習工場

実習工場には主要な工作機械があり、機械工学専攻の学生は、ここで実際に機械加工の学習をします。卒業研究遂行のための実験装置を製作する学生もいます。



デザイン工房

デザイン工房には、各種工作機械があり、立体造形やプロダクトデザイン、工芸分野の演習で使用します。学生は作品制作を通して造形素材に知識と加工技術を習得します。



体育館

体育館内には、アリーナ・武道場・ボールドリングウォール・トレーニング室・更衣室・シャワー室があります。



大学会館（講堂など）

大学会館内には、講堂・就職資料室・手話学習室・個別コミュニケーション指導室・ランチ用スペース・自動販売機コーナーがあります。



保健管理センター

学生生活を心身ともに健康に過ごせるようお手伝いをすることが、保健管理センターの主な役割です。キャンパス内での怪我や急病の際には、ここで簡単な応急手当をします。程度が重い場合には、外部の病院を紹介し、一刻も早く受診できるようにしています。この他に、交友・勉強・寄宿舍・サークルなどの様々な悩みについてカウンセリングを行っています。一人で悩んでいても、良い解決方法は見つかりません。気軽に相談してください。

図書館

学修・研究に必要な専門資料や、教養のための図書・雑誌、字幕入りのビデオ等を取りそろえており、パソコンも設置しています。授業の予習・復習、レポートの作成や試験のための利用はもちろんのこと、本学のラーニング・commonsの一端を担う学習支援のためのラウンジや、セミナー室・研究個室もあり、友達同士やグループでの学習や討議、プレゼンテーションの練習などにも大いに活用してください。



※2020年3月のもの

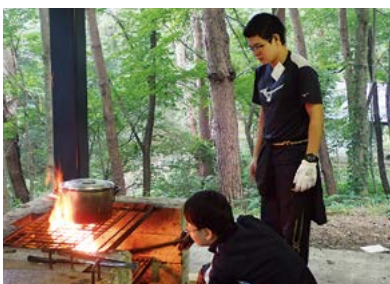
Event Schedule

イベントスケジュール

- 4月 入学式
新入生オリエンテーション等
第1学期授業開始
- 5月 学生定期健康診断
ランチトーク
- 6月 授業見学会(春季)
ランチトーク
- 7月 ランチトーク
第1学期授業終了

- 8月 第1学期期末試験
フィードバック期間
オープンキャンパス
夏季休業(8月中旬～)
社会人学び直しプログラム
アウトドアスポーツ(福島)
(集中授業)
- 9月 異文化コミュニケーション
A・F(韓国)(集中授業)
社会人学び直しプログラム
夏季休業(～9月下旬)
- 10月 第2学期授業開始
授業見学会(秋季)
- 11月 ランチトーク
社会人学び直しプログラム

- 12月 ランチトーク
冬季休業(12月下旬～)
社会人学び直しプログラム
- 1月 冬季休業(～1月上旬)
ランチトーク
授業見学会(冬季)
第2学期授業終了
- 2月 第2学期期末試験
フィードバック期間
春季休業(2月中旬～)
スノースポーツ(新潟)(集中授業)
社会人学び直しプログラム
- 3月 異文化コミュニケーションB・G
(米国)(集中授業)
異文化コミュニケーションE・J
(ロシア)(集中授業)
学位記授与式
春季休業(～4月上旬)



アウトドアスポーツ



スノースポーツ



ランチトーク

Campus Life

私の学生生活



Students Voice

学生の声

産業情報学科
情報科学コース3年

春山 理菜さん

日本大学東北高等学校 出身



一般入試で合格し、2020年の4月に入学しました。2年生からユニットタイプのA棟で生活をしています。個室タイプのE棟と違い、A棟には補食室があり、キッチン、冷蔵庫、電子レンジ、テレビがあります。また、それぞれ1人1部屋の自室があります。自室はE棟より狭いですが、快適に過ごすには十分だと思います。寄宿舎は大学から徒歩1~2分の場所にあるので、距離が近く、また、寄宿料がアパートより安いので、卒業まで寄宿舎で生活することを考えています。

私は2年生の6月からアルバイトを始めました。大学から自転車で、約20分のところにある飲食店のホールとして働いています。少し遠いですが、そのバイト先では技大の先輩が何人が働いており、私自身、初めてバイトをするということもあったので、それが決め手となりました。講義や課題と両立することは簡単ではありませんが、学生のうちに社会経験をすることは、これから先とても役立つと思います。ですので、新入生にも、何事も挑戦していく気持ちを持ってほしいです。

つくば市には、美味しいラーメン屋さんや大きなショッピングモールなど、十分に楽しめる場所が多数あります。また、つくば市から東京まで、電車一本で行くこともできるので、友達と遊びに行く範囲が広がります。毎週、どこに出かけようかと考えるのがとても楽しみになります。

私は3年生から、バスケットボールサークルに所属しました。バスケサークルは毎週月曜日と水曜日に活動しており、大学の体育館でバスケを楽しんでいます。サークルでは、先輩や後輩と関わる事が多く、交流の幅が広がるので、より楽しむことができます。

学生寄宿舍

居室内にミニキッチンを備えたタイプのE棟(女子専用棟)では、同フロアに12室の個室があります。各フロアには、共用の談話コーナー、洗面洗濯室、トイレ等が設置されています。部屋面積は約5畳半で、居室内に冷蔵庫、電子レンジがある他、本棚付学習机や椅子も設置されています。

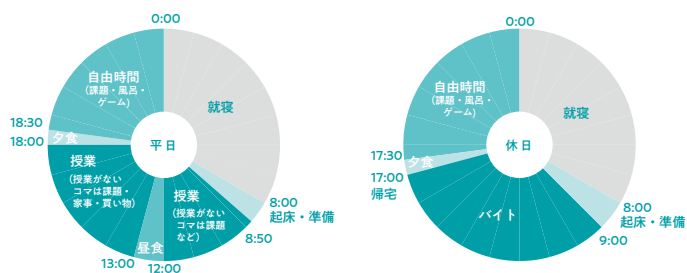


ユニットタイプのA~D棟では、5~6室の個室がまとまって共同生活の単位である「ユニット」を構成しています。各ユニットには、簡単な自炊ができるダイニングキッチン(補食室)があり、ロッカー、IH調理器、テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機と乾燥機が設置されています。

2年生になり、情報系を学ぶコースである、「情報科学コース」に入りました。1年生とは違い、専門科目の講義が多くなったので、大変なことも増えましたが、楽しく学んでいます。2020、21年は感染症が流行り、一部がオンライン講義となってしまい、思う存分にやりたいことができなかった面もありました。しかし、それでも今、先生と向き合って講義を受けられることに感謝しています。大学で学ぶ意味を考えながら、将来、自分が何をしたいか、を考えていければと思います。

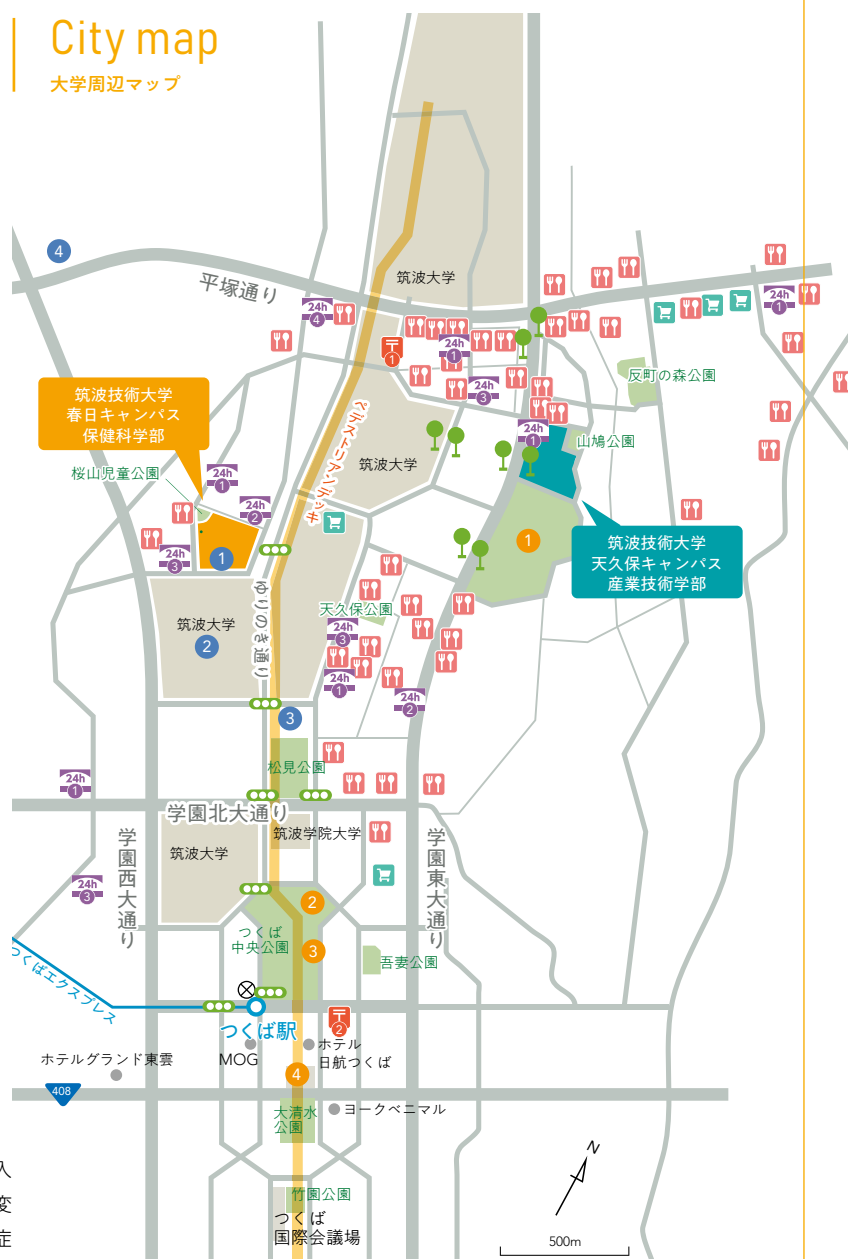
私は、「何事も挑戦することから始め、物事を見る視点を増やしていく」ことを、大学生活を過ごす上でとても大切にしています。大学生活は「人生の夏休み」とも言われています。何かに挑戦するにはこれ以上ないチャンスなので、新入生も色々なことに挑戦してほしいと思います。

【私の一日】



City map

大学周辺マップ



周辺環境

- 食堂・スーパー
 - 🍴 食堂 (定食・ファミレス等)
 - 🛒 スーパー・薬局
- 交通
 - 🚶 ペDESTリアンデッキ
 - 🔊 音響付信号機
 - 🚏 大学近隣バス停
- 医療施設
 - ① 東西医学統合医療センター
 - ② 筑波大学附属病院
 - ③ 筑波メディカルセンター
 - ④ つくば医療ビレッジ
- コンビニ・ATM
 - 🏪 24h セブンイレブン
 - 🏪 24h ファミリーマート
 - 🏪 24h ローソン
 - 🏪 24h ミニストップ
- 学び
 - ① 筑波実験植物園
 - ② つくばエキスポセンター
 - ③ 図書館・美術館
 - ④ コンサートホール
- 郵便局
 - 📮 筑波大学内郵便局
 - 📮 筑波学園郵便局

2020年3月現在

就職支援・進学

就職支援体制

就職ガイダンス・セミナー・講演会等（年間10回以上）を企画・実施し、学生の就職支援活動を行っています。

また、就職活動に関連するコミュニケーションの個別指導を年間を通じて実施しています。

さらに教育面からの就職支援として、キャリア教育科目の中で、キャリア発達を促すための授業を行っています（ろう・難聴者の社会参加・聴覚障害教育と心理・就職活動支援・自分史・きこえない人の生活文化）。3年次のインターンシップ（職場実習）では、将来に備えた指導的な技術者としての素養と実践的な技術的感覚の体得を目指しています。

就職資料室（学生会館1F）には、各企業等からの求人票や企業案内の冊子等が備えてあり閲覧できるようになっています。

2022年度就職講座等の実施状況

5月	● 就職セミナー事前講座 ● 就職セミナー（インターンシップ説明会）	11月	● 第1回履歴書添削 ● 第7回講座「会話・メールのマナー②」
8月	● 第1回講座「会話・メールのマナー①」	12月	● 第8回講座「卒業生講演会」 ● 第9回講座「模擬面接講習会」 ● 第10回講座「公務員講座」 ● 第11回講座「第2回SPI模擬試験」
9月	● 第2回講座「キャリアガイダンス [未来を描こう]」	1月	● 第2回履歴書添削
10月	● 第3回講座「第1回公務員試験対策模試」 ● 第4回講座「第1回SPI模擬試験」 ● 第5回講座「就職活動準備講座 [基礎編・実践編]」 ● 第6回講座「就職応援！オンライン面接向けメイクセミナー」	2月	● 第12回講座「第2回公務員試験対策模試」 ● 第13回講座「WEBテスト対策模試」

就職セミナー（インターンシップ説明会）

学生の採用を検討している企業を大学に招き、合同のインターンシップ説明会を実施しています。毎年20～30社の企業が参加し、企業ごとに個別説明を行うブース形式で実施しています。各ブースでは、企業の採用担当者や実際に働いている卒業生による会社概要・インターンシップ内容に関する説明を聞くことができます。



大学を卒業した聴覚障害者の就労に関する産学官連携シンポジウム

大学を卒業した聴覚障害者の就労上の課題とその対処について情報提供を行うことを目的としたシンポジウムを毎年実施しています。

2022年度は「聴覚障害者が就労した際の職場適応」をテーマとし、本学卒業生、企業、福祉事業所の方を講師としてお招きし開催しました。



就職活動準備講座[基礎編・実践編]

就職活動で求められる「自己PR」や「志望動機」への対策として、就職活動準備講座を実施しています。基礎編では、企業・仕事研究の方法や自己PR・志望動機の作成方法を学びます。実践編では実際に自己PRを作成し、学生同士で発表し合うことにより、採用側・学生側双方の視点で理解を深めることができます。



模擬面接講習会

模擬面接講演会では、選抜された代表学生が登場し、本番同様の模擬面接を行います。就職活動を目前に控えた時期に、志望動機の作成方法や企業研究のポイントについて再確認することができるため、代表学生だけでなく、客席で観覧している学生にとっても有意義な講演会です。



大学院進学について

天久保キャンパスには、学部教育との連続性を持たせたより高度な知識等の修得が可能な「産業技術学専攻」と、社会において障害者支援の中核的な役割を担う高度専門職業人および情報保障の研究者を養成する「情報アクセシビリティ専攻」の2つの専攻による修士課程があり、自身の障害に対する理解を深めつつ、学部で学んだ知識、技能を活かし、さらなる研究を推し進めることが可能です。

専攻	入学定員	コース	取得できる学位
産業技術学専攻	4名	情報科学コース	修士(工学)
		システム工学コース	修士(工学)
		総合デザイン学コース	修士(デザイン学)
保健科学専攻(※)	3名	鍼灸学コース	修士(鍼灸学)
		理学療法学コース	修士(理学療法学)
		情報システム学コース	修士(工学)
情報アクセシビリティ専攻	5名	障害者支援(聴覚障害)コース	修士(情報保障学)
		障害者支援(視覚障害)コース	修士(情報保障学)
		手話教育コース	修士(情報保障学)

※保健科学専攻は、視覚障害がある方が対象です。

学内会社説明会等

学内で申込のあった企業等の説明会を随時実施しています。企業の採用担当者から最新の情報を入手するとともに就職への大きな一歩となることが期待されます。また「企業向け大学説明会」や「就労に関するシンポジウム」を開催し、企業とのつながりを強めています。

学校推薦、大学紹介について

学校推薦とは、企業と大学との信頼関係に基づき一定の採用枠を設けるものです。企業により推薦の取り扱いは様々で、選考の過程が一部免除される場合や、ほぼ内定を出す場合があります。大学紹介とは、就職担当者が学生と面談を行い、本人の希望や適性にあった企業を紹介する方法です。本学は、多くの企業から推薦や紹介の依頼をいただいております。本学のシンポジウムに参加するなど聴覚障害者の採用に前向きな企業を学生に紹介しています。約半数の学生が学校推薦・大学紹介を受けて就職しています。

教職課程について

一般の企業等だけでなく、本学での学修を経て教員免許を取得し、教職の道を歩む卒業生も輩出しています。詳しくは、6~7ページをご覧ください。

キャリアサポーター

キャリア支援の充実を目的としてキャリアサポーターを設置し、就職活動中の学生や就職活動を控えた学生に対する面接指導、履歴書添削等の個別相談を行っています。また、キャリアサポーターを講師として、会話・メールのマナー講座や進路がまだ決まっていない低学年の学生に対するキャリアガイダンスも実施しています。

Graduates

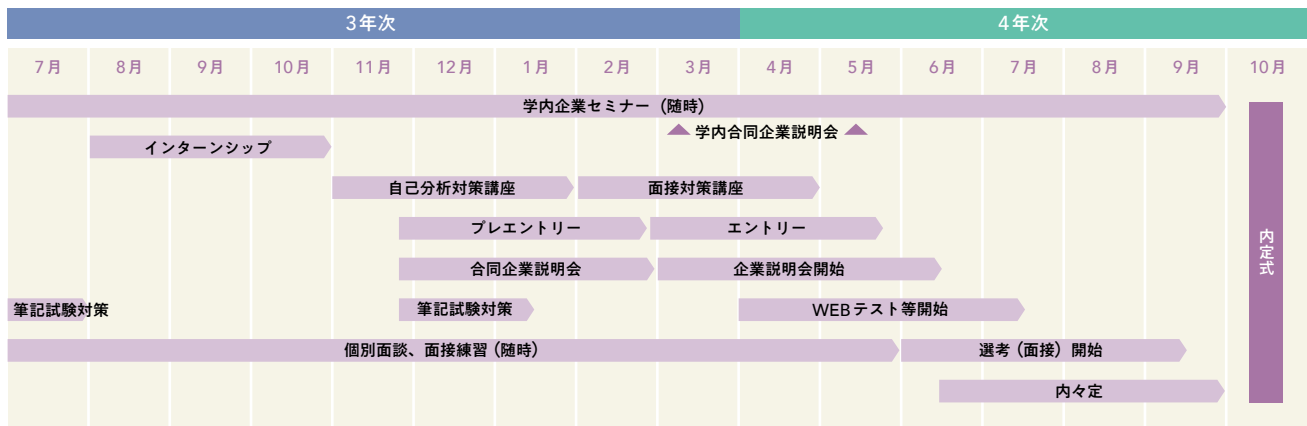
卒業生の進路

	産業情報学科情報科学領域		産業情報学科建築工学領域		総合デザイン学科		大学院技術科学研究科産業技術学専攻	
	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数	企業名	人数
二〇二二年度	JTBグループ	1	株式会社LIXIL	1	NTTデータMSE株式会社	1	住友金属鉱山株式会社	1
	SOLIZE株式会社	1	株式会社巴コーポレーション	2	株式会社LIXIL	2	群馬県特別支援学校教員	1
	株式会社C4C	1	戸田建設株式会社	1	株式会社TBS ACT	1	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ関西	1
	株式会社LIXIL	1	メトロ設計株式会社	1	株式会社オカムラ	1	明晴学園	1
	株式会社インテック	2	保川建設株式会社	1	株式会社大和ハウス工業	1		
	トヨーカネット株式会社	1			静岡県静岡中央高等学校	1		
	博報堂DYアイ・オー	1			商工組合中央金庫	1		
	菱信データ株式会社	1			ナンバーワンソリューションズ	1		
	株式会社NTTデータMSE	2			株式会社JTB	1		
	三菱電機エンジニアリング株式会社	1			株式会社ブルボン	1		
朝日新聞株式会社	1			株式会社日立ハイテク	1			
長岡京市役所	1			株式会社博報堂プロダクツ	1			
二〇二一年度	株式会社IHIエスキューブ	1	三菱電機エンジニアリング株式会社	1	株式会社オカムラ	1	株式会社インテック	1
	東日本旅客鉄道株式会社	2	株式会社本田技術研究所	1	株式会社NTTデータMSE	1	町田市役所	1
	株式会社NTTデータMSE	4	住友金属鉱山株式会社	1	株式会社代々木アニメーション学院	2		
	TOTOバスクリエイト株式会社	1	株式会社フジタ	1	パーソルチャレンジ株式会社	1		
	オムロン株式会社	1	日経エンジニアリング株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	株式会社JTB	1						
	株式会社ドコモCS	1						
	トランスコスモス株式会社	1						
	株式会社インテック	1						
	株式会社リクルートオフィスサポート	1						
高知県庁	1							
日本電算企画株式会社	1							
二〇二〇年度	東芝インフラシステムズ株式会社	1	株式会社本田技術研究所 和光研究所	1	大和ハウス工業株式会社	1		
	日本電算企画株式会社	1	三電機株式会社	1	プラス株式会社	1		
	栃木県庁	1	三菱電機エンジニアリング株式会社 神戸事業所	1	持田製薬株式会社	1		
	中電ウイング株式会社	1	株式会社LIXIL	1	KDDI エポルバ株式会社	1		
	茨城県学校事務	1	コーナン建設株式会社	1	サイボウズ株式会社	1		
	株式会社インテック	2	三機工業株式会社	1	株式会社オカムラ	1		
	持田製薬株式会社	1	YKKAP株式会社	1	楽天ソシオビジネス株式会社	1		
	船橋市役所	1	株式会社オカムラ	2				
	株式会社NTTデータMSE	1	三和シャッター工業株式会社 関西支社	1				
	パナソニック吉備株式会社	1						
トークシステム株式会社	1							
二〇一九年度	ジェイアール東海情報システム株式会社	1	株式会社朝日新聞社	1	株式会社オカムラ	1		
	株式会社 システムデザイン	1	オムロンヘルスケア株式会社	1	元気寿司株式会社	1		
	シャープ株式会社	1	株式会社ケーヒン	1	東京キネスイハイム株式会社	1		
	株式会社デンソー	1	株式会社構造計画研究所	1	株式会社ドコモCS	1		
	トランスコスモス株式会社	2	三機工業株式会社	1	トランスコスモス株式会社	3		
	株式会社日立産業制御ソリューションズ	1	戸田建設株式会社	1	不二ライトメタル株式会社	1		
	株式会社日立ソリューションズ東日本	1	日経パナシステム株式会社	1	プラス株式会社	1		
	福岡市役所	1	株式会社日本経済新聞社	1	持田製薬株式会社	1		
	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ	1	東日本旅客鉄道株式会社	1	筑波技術大学大学院(進学)	1		
	マリン株式会社	1	三菱ケミカル株式会社	1				
箕面市役所	1	株式会社LIXIL	1					
理想科学工業株式会社	1	上越教育大学大学院(進学)	1					
菱信データ株式会社	2							
二〇一八年度	NECフィールディング株式会社	1	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	1	京セラコミュニケーションシステム株式会社	1	日本工営株式会社	1
	株式会社NTTドコモ	1	SMBC日興証券株式会社	1	株式会社高知銀行	1	株式会社フジクラ 佐倉事業所	1
	エムオーテックス株式会社	1	花王株式会社	1	株式会社JTB	1	前田建設工業株式会社	1
	オムロン株式会社	1	京三電機株式会社	1	株式会社JTB ビジネスストラベルソリューションズ	1	株式会社ケーヒン 栃木開発センター	1
	花王株式会社	1	ダイキン工業株式会社	1	株式会社セブン・イレブン・ジャパン	1	上智大学大学院(進学)	1
	鹿児島県庁	1	株式会社日立ハイテクノロジーズ	1	大和ハウス工業株式会社	1	筑波大学大学院(進学)	1
	株式会社久原本家グループ本社	1	三菱電機エンジニアリング株式会社	1	トランスコスモス株式会社	1		
	株式会社JALサンライズ	1	株式会社LIXIL	2	プラス株式会社	2		
	セコムビジネスプラス株式会社	1			株式会社ユナイテッドアローズ	1		
	セントラルスポーツ株式会社	1			株式会社レナウン	1		
トランスコスモス株式会社	2							
日本通運株式会社	1							
株式会社日立ソリューションズ東日本	1							
上越教育大学大学院(進学)	4							
筑波技術大学大学院(進学)	2							
二〇一七年度	オムロンソーシャルソリューションズ株式会社	1	川崎市役所	1	株式会社インテック	1	ダイキン工業株式会社	1
	京セラ株式会社	1	京三電機株式会社	2	コナミホールディングス株式会社	1		
	コスモ石油株式会社	1	三機工業株式会社	2	株式会社資生堂	1		
	セコムビジネスプラス株式会社	1	三和シャッター工業株式会社	1	株式会社JALサンライズ	1		
	株式会社ソシオネクスト	1	株式会社JALサンライズ	1	Sky株式会社	1		
	株式会社ダイキンサンライズ摂津	1	東京地下鉄株式会社	1	ソニー・太陽株式会社	1		
	株式会社東邦銀行	1	トランスコスモス株式会社	1	東京都プリプレス・トッパン株式会社	1		
	東日本旅客鉄道株式会社	1	日本瓦斯株式会社	1	株式会社日本経済新聞社	1		
	株式会社日立産業制御ソリューションズ	2	株式会社フジクラ	1	東日本旅客鉄道株式会社	1		
	株式会社日立製作所システム&サービスビジネス統括本部	1	株式会社日比野設計	1	株式会社ユナイテッドアローズ	1		
株式会社フジクラ	1	松井建設株式会社	2	株式会社読売旅行	1			
持田製薬株式会社	1	上越教育大学大学院(進学)	1	株式会社ラッス	1			
株式会社LIXIL	1			株式会社ワコール	1			
上越教育大学大学院(進学)	1			大阪教育大学 専攻科(進学)	1			
兵庫教育大学大学院(進学)	1							

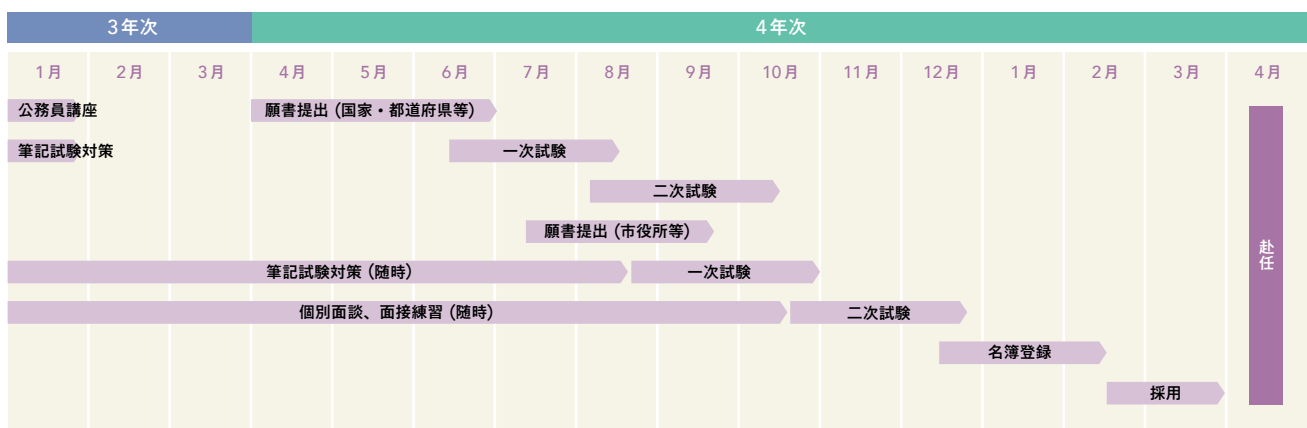
(※社名等は当時の表記)

就職活動について

企業の例



公務員の例



Message

岡山県 保健福祉部障害福祉課

真島 大輔さん

産業情報学科システム工学専攻 [2014年度卒]

経験を積んで力を身に付けよう

私は現在、岡山県庁内にある保健福祉部障害福祉課で勤務しており、主に心身障害者扶養共済制度や手話通訳・要約筆記者の養成と派遣、聴覚障害者の相談業務を行う聴覚障害者センターに関する委託業務を担当しています。自身の障害に関わる業務に携わることで、これまで知らなかった聴覚障害者への支援や情報提供について、業務を通じて知識を深めています。

公務員は安定していて定時に帰れるというイメージが大きいと思いますが、必ずしもそうではありません。確かに入庁後に配属された部署では、仕事が少なく、定時に帰ることができていましたが、現在勤務している障害福祉課は、多忙で業務量が多く残業もしばしばあります。しかし、その反面やりがいがあるため楽しく仕事に励んでいます。責任の重い仕事を任せられることもあります。ミス無く事務処理をしっかりとこなせるように日々精進しています。

大学では建築工学を専攻しており、現在の仕事と直接関わりはありません。しかし、大学の講義やレポート作成のために身に付いたPCスキルと考察力は、職場での資料作成等に生きており、上司や先輩のアドバイスを受けながら現在も事務作業に必要な知識を吸収しています。また、大学の講義やアルバイト等といった学生生活で身に付いたコミュニケーションスキルについても、職場において、上司や先輩、同期との会話は口話で行い、電話対応は筆談してもらいなど、大学で学んだことや経験は、今の私の力となっています。

大学で身に付けたスキルは、卒業後、必ず仕事や日常生活で活かされます。日々の学生生活で様々な経験を積んで社会生活に必要なスキルを身に付け、自身の力にしてほしいと思います。



Graduates

卒業生インタビュー

私は現在…



株式会社本田技術研究所 勤務

亀田 怜史さん

Satoshi Kameda

産業情報学科

システム工学専攻機械工学領域

[2021年度卒業]

Where there's a will, there's a way.

このページを読んでいる皆さん、こんにちは。私は現在、バイク、自動車などのメーカーであるHondaの研究開発部門である株式会社本田技術研究所で毎日元気に仕事をしています。その中の様々な開発における試作機の製作を担う試作室に配属され、機械加工の担当として業務推進をしています。

具体的な業務の内容ですが、5軸加工機やワイヤ放電加工機、型彫り放電加工機など様々な加工機を用いて試作品の製作やテスト用部品の加工などを担当しています。また加工だけではなくPCの作業もあり、CADソフトで治具設計、CAMソフトで加工シミュレーション、計測機器を用いて加工後の計測なども行い、加工工程の最初から最後までを担っています。大学では機械工学領域を専攻していたのでしっかり基礎を習得し、実際の業務の中で経験を積み、自分の能力を十分に発揮できていると思っています。

現在の職場に、聴覚障害者は後輩が一人いますが、機械加工を担当しているメンバーでは私だけという環境で仕事をしています。コミュニケーションは難しい場面も多いですが、メンバーのみんなに支えられながらしっかり自分の仕事ができていますと感じています。今後は聴覚障害をハンディとせず、機械加工領域、試作室でもリーダーを目指して仕事をしていきたいと思っています。

皆さんの中には仕事に対して不安や疑問が多い人もいるかもしれません。筑波技術大学は授業における情報保障が充実しているので、他大学の生徒に比較して情報保障の手配などにかかる時間が少ない分、有利なはず。有利な時間を無駄にせず、どのように使うか、何のために使うか意志を持って行動してください。[Where there's a will, there's a way. (意志あるところに道は開ける)]



教員となったからこそ分かったこと。

私は現在2019年奈良県教員採用試験に合格し、母校の奈良県立ろう学校で中学部、高等部の美術を担当しています。工芸免許は筑波技術大学、美術免許は大阪芸術大学、特別支援学校教諭免許は大阪教育大学特別支援教育特別専攻科で聴覚障害分野を修了し取得しました。教員になって4年目…美術の授業で心掛けていることが5点あります。

- ① 生徒が文字や言葉を使わなくても自己表現ができる美術・工芸の魅力を感じてもらうこと
- ② 生徒それぞれの感性や特性を生かせる教材を選ぶこと
- ③ 様々な道具や材料を扱う為、全ての生徒の様子を注意深く観察し安全に努めること
- ④ 美術・工芸・デザインと幅広い知識や技法を取り入れること
- ⑤ 生徒の作りたい、表現したいという思いを大切にすること

上記の5点を心掛けるために教材選びで紙、ワイヤー、毛糸、ボールペン、粘土、フェルト、ビーズ、砂、石など多様で幅広く研究し、生徒一人一人に合っているかを考察しながら試作を行っています。更に美術・工芸・デザインを全てバランスよく取り入れるように試作工程で工夫し安全性を確認しています。これらの工程を経て授業で生徒に説明し制作してもらいます。興味を示さなかったり、不都合な点があったりした場合は試行錯誤を重ねながら、また生徒からの発想や提案を取り入れて改善しています。今後も教材選びに工夫し、生徒の発想や創造力を引き出して個性や感性を発揮できる授業づくりを継続するために自分磨きを重ねていきます。以前、受講した筑波技術大学の社会人学び直しプログラム美術・工芸教員の造形講座でスキルアップに努めつつ、積極的な芸術鑑賞で感性を高めようと考えています。

将来教員を目指す学生の皆さんには、大学時代の様々な経験は必ず自己成長につながると思いますので何事にもチャレンジする気持ちを持ち続けてください。



奈良県立ろう学校 勤務

山川 未那巳さん

Minami Yamakawa

総合デザイン学科

製品デザイン学領域

[2018年度卒業]

疑問を持ち、周囲と接し、何事にも挑戦。

私は現在、株式会社LIXILのWEB&デジタルテクノロジーセンター・アセットグループで勤務しています。当グループは、LIXIL商品画像・動画などを管理している部署で、デジタルカタログ・検索サイトなどの管理や、商品画像・動画を使いたいお客様へ画像を提供するサービスの運営などを実施しています。

私の担当業務は、主に画像提供サービスで、約25万点のLIXIL商品画像・動画を取り扱っています。特に動画管理については主担当として活動しています。大学で学んだアクセス等の既製ソフトを使った業務もありますが、私の仕事は社内専用システムを使っており、新しいシステムの導入も頻繁にあるため、常に学びが必要です。様々なシステムに携わって、現在の仕事を更に効率よく進めるよう改善に取り組み、小さなことからでも挑戦し続けることで、自分自身の成長に繋げることができています。このような活動を続けた事で、上司や同僚からも信頼され、難しい仕事を任せられるようになり、やりがいを感じられるようになりました。

このような日常の業務に加えて、ミミシル(聴覚障がい者の働きやすい環境を考える活動)という社内SNSグループで、サブリーダーとして音声の可視化や手話教室などの活動を続けた結果、テレワークでも情報保障が整備されるようになり、私たち聴覚障がい者が様々なツールを使って健聴者との意見交換や雑談などで対等に話し合えるようになり、更に働きやすくなりました。

大学では、授業でも生活面でも疑問を持ってすぐに周りの人に聞くようにすることが大切です。そして、小さなことでもよいのでアルバイトやサークルなど新たなことに挑戦してみてください。そうすることが、あなたにとって経験の一つとなり、大学生活や卒業後の行動の糧になると思います。



株式会社LIXIL 勤務

小林 なな恵さん

Nanae Kobayashi

産業情報学科
情報科学専攻情報科学領域
[2017年度卒業]



大和ハウス工業株式会社
ダイワハウス沼津支店 勤務

佐野 真帆さん

Maho Sano

総合デザイン学科
建築デザインコース
[2012年度卒業]

経験すること、先生や友人を通じて学ぶことが大切。

私は現在、大和ハウス工業株式会社で働いています。大和ハウスは住宅総合メーカーであり、住宅事業の他にも賃貸住宅、流通店舗、マンション、環境エネルギー等の幅広い事業を展開しており、私はその中の住宅設計課で働いています。

住宅事業は主に注文住宅(お客様が購入した土地又は所有している土地に一から住宅を建てる新築住宅)と分譲住宅(建物と土地をセットで販売する戸建て住宅)があり、私はどちらも担当します。注文住宅はお客様の人生最大のお買い物の一つなので、何度も内容を変更したり、特注品が多くなる傾向があります。依頼内容によっては施工上不可能であったり、型式認定(建築基準法に定められた仕様規定以下のスペックでありながら一定以上の安全性が確認できたとして国土交通大臣が認定するもの)から外れてしまう場合もある為、型式範囲内に収めた上でお客様のご要望に最大限応えるにはどうすべきかを考えて提案するよう心がけています。

分譲住宅は手頃な価格で販売できるよう内容がシンプルになりやすいですが、その分お客様に「ここで生活したい」と思って頂けるようにインテリアや同線計画等で工夫を凝らす必要があります。また、これは注文住宅でも同じなのですが、例えばエアコンの室外機が駐車場や庭に配置されないように計画したり、洗面化粧台の引き出しを開閉する際にドア扉等の壁からの突起物に干渉しないよう工夫する等、実際に生活する際に不便さを感じないよう配慮することも必要です。特に分譲住宅は注文住宅のようにお客様と打ち合わせしながら計画するわけではない為、実際に自分が生活することを想定しながら計画する必要があります。

こういった配慮や提案する力は、入社した当時から持っていたものではありませんし、教科書やマニュアルにも載っていません。例えば先輩や上司からの指摘であったり、営業担当や工事担当との打ち合わせの中で気づいたり、完成後の住宅を実際に見て改善点を見つけたりという、経験やコミュニケーションの積み重ねで少しずつ身に着けていったものです。在学生の皆さんも日々の勉強していく中で、実際に経験したり先生や友人と相談しあったりすることで教科書で学んだこととの違いを感じたり、別の気付きを得ることがあると思います。そういった経験の積み重ねは皆さん自身の力になります。いろんなことに挑戦し、様々な経験を積み重ねて、素敵な大学生活を送ってください。

入学に関するお知らせ

2023年度に実施する産業技術学部入学選抜の詳細は、9月に公表予定の「令和6年度学生募集要項」をご覧ください。

入学資格

産業技術学部へ入学できる者は、大学入学資格を有する者（特別支援学校高等部や高等学校を卒業した者等）で、両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上^{*}のもの又は補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能若しくは著しく困難な程度のものとなっています。

^{*}裸耳（補聴器を外した状態又は他は人工内耳のスイッチをオフにした状態）での聴力レベル

入学選抜の方法

産業技術学部の入学選抜は、次の5つの方法で行います。

1. 学校推薦型選抜

特別支援学校校長又は高等学校長の推薦に基づき、調査書及び推薦書等による書類審査、小論文、適性検査(産業情報学科)又は実技検査(総合デザイン学科)、及び面接の結果を総合して選抜します。

2. 社会人選抜

社会人経験のある者に対して、小論文、適性検査(産業情報学科)又は実技検査(総合デザイン学科)、面接、及び調査書等による書類審査の結果を総合して選抜します。

3. 総合型選抜

書類審査、小論文、プレゼンテーション及び面接の結果を総合して判定・選抜します。

4. 編入学試験

大学で62単位以上修得している者又は短大・特別支援学校専攻科等を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者を対象にした入学選抜を行います。

5. 一般選抜(前期日程)

大学入学共通テスト、学力検査等(数学または総合問題)、面接、書類審査の結果を総合して選抜します。

大学入学共通テスト

産業技術学部では、大学入学共通テストのうち以下の教科・科目を利用します。

産業情報学科

国語(「近代以降の文章」分野のみ)
外国語(英(リーディングのみ))
[2教科・2科目]

総合デザイン学科

国語(「近代以降の文章」分野のみ)
外国語(英(リーディングのみ))
[2教科・2科目]

利用教科・科目・配点等については、9月に公表予定の「令和6年度学生募集要項」を参照してください。

2024年度に実施する令和7年度産業技術学部入学選抜から、大学入学共通テストの出題教科・科目が新学習指導要領に対応した内容に変更されることを受けて、利用教科を変更します。
詳しくは、大学ホームページをご確認ください。<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/admission/index.html>



入学定員等

入学定員 収容定員

	入学定員	収容定員	
産業情報学科	35人	140人	学士 (工学)
総合デザイン学科	15人	60人	学士 (デザイン学)

学費・奨学金などのご案内 ※2023年度入学者

入学料・授業料

●入学料

282,000円(入学手続き時に納入)

●授業料

前期分 267,900円(5月に納入)
後期分 267,900円(11月に納入)
(年額 535,800円)

入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

入学料・授業料免除制度

本学は、2020年度開始の国の「高等教育の修学支援制度」対象校に認定されています。(制度の詳細は右QRコードから)

これとは別に、本学では下表の入学料・授業料免除制度を実施しています。なお、経済的困難のある方は、本学の免除制度と国の「高等教育の修学支援制度」を両方併せて受給申し込めます。

また、家計急変で急に支援が必要になった際も、本学は機動的にお支えする仕組みがあります。

■ 文部科学省 修学支援制度特設ページ
<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



■ 日本学生支援機構 (JASSO)
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>



免除の種類	免除メニュー	選考基準	免除額	備考
入学料免除		○所得基準・学業成績基準を満たすこと ○家計急変のために緊急に支援する必要があると認められること	全額または半額	
	経済的理由	○所得基準・資産基準・学業成績基準を満たすこと	全額または半額または一部	
授業料免除	災害等による家計急変	○家計急変のために緊急に支援する必要があると認められること ○資産基準を満たすこと	全額または半額または一部	家計急変があった場合、申請期限等に関わらず、随時申請可能
	社会人	○本学の社会人入学者選抜で入学した者等	半額または一部	
	私費外国人留学生	○「留学」の在留資格を有する者 ○学業成績基準を満たすこと	全額または半額または一部	
	学業成績が優秀または表彰された場合	○直前学期で優秀な成績を収めた場合 または ○表彰された場合	【成績優秀】半額または一部 【表彰】全額	

※上記の免除制度以外にも、入学料・授業料の徴収猶予制度や、授業料の月割分納制度もあります。

※上記の制度は学部生・大学院生・私費外国人留学生いずれも共通ですが、大学院生・私費外国人留学生は国の「高等教育の修学支援制度」の対象外ですので、ご注意ください。

※予算や申請状況によっては、申請し基準に該当しても、免除等にならない可能性があります。ご了承ください。

奨学金

経済的な理由等で修学が困難な学生に対しては、各種の奨学金制度があります。

日本学生支援機構奨学金

優秀な学生で、経済的理由により修学が困難な場合には、日本学生支援機構の選考により奨学金が貸与されます。奨学金は、第一種奨学生(無利子)、第二種奨学生(有利子)があり、内容は次のとおりです。2022年度(月額)

●第一種

[自宅通学者]	[自宅外通学者]
20,000円	20,000円
30,000円	30,000円
45,000円	40,000円
	51,000円

●第二種

(20,000円から120,000円までの1万円単位の金額から選択)

20,000円	30,000円	40,000円	50,000円
60,000円	70,000円	80,000円	90,000円
100,000円	110,000円	120,000円	

その他の奨学金

地方公共団体、各種法人等が募集する奨学制度があり、内容は、団体等によって異なります。

その他

学生教育研究災害傷害保険等

授業中や課外活動中の事故に対して補償する「学生教育研究災害傷害保険」と授業中や課外活動中のみならず、インターンシップ(企業実習等)等で起こった学生の賠償事故(他人にけがをさせたり、財物を破損させたりした事故)について補償する「学研災付帯賠償責任保険」があります。本学ではこの保険制度に賛同し、基本部分については大学が負担し、特約及び付帯賠償については、入学時に全員が加入するよう勧めています。

寄宿舍関係経費 2023年度

	A~D棟	E棟
寄宿料	5,000円/月	6,500円/月
共益費	12,000円/月	11,000円/月
居室電気料	実費(約千円程度/月)	

OPEN CAMPUS 2023

筑波技術大学産業技術学部
オープンキャンパス

オープン
キャンパス 8.5_[土]

筑波技術大学天久保キャンパス（オンラインの可能性あり）
10:00-16:00

授業見学会 【施設見学・入試対策・学生交流会】

春季 6.9_[金] | 秋季 10.20_[金] | 冬季 1.22_[月]

13:00-16:00
筑波技術大学天久保キャンパス（オンラインの可能性あり）

オンライン説明会 13:00-16:00

第1回 5.12_[金] | 第2回 9.3_[日]

出張オープンキャンパス 13:30-16:00

5.28_[日] 東京 北海道 福岡

6.18_[日] 大阪 仙台 広島

9.17_[日] つくば 大阪(第2回) 富山

※掲載内容は2023年3月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症や悪天候等による、急な予定変更や中止が決定した場合は、本学ホームページ、Facebook、Twitterでお知らせします。



受験 相談

聴覚に障害のある生徒、保護者及び関係職員等を対象に出張オープンキャンパス等を上記のとおり開催します。出張オープンキャンパス等では、希望学科の教育内容の説明、個人別の教育相談・受験相談などを行います。その他、希望に応じて随時、受験相談・施設見学等を行っていますので、お申し出ください。

ACCESS MAP

筑波技術大学
春日キャンパス
【保健科学部】

至秋葉原

つくばエクスプレス

つくば中央 IC

圏央道

つくばエクスプレス [快速45分]

秋葉原駅

常磐高速バス [約65分]

東京駅 (八重洲南口)

JR 常磐線

ひたち野うしく駅

荒川沖駅

土浦駅

筑波技術大学 天久保キャンパス 【産業技術学部】

配置図



1. 管理棟
2. 校舎棟
3. 特殊実験棟
4. メディアセンター
(障害者高等教育研究支援センター・図書館)
5. 大会会館 (講堂・食堂)
6. 学生寄宿舍共用棟
7. 学生寄宿舍居住棟
8. 体育館
9. テニスコート
10. 多目的グラウンド
11. 学生支援棟 (紫峰会館)
12. 総合研究棟

つくば駅

- 「テクノパーク大穂」バス乗車 [約 15 分]、
「筑波技術大学産業技術学部」下車徒歩 1 分
- 「筑波大学循環 (左回り)」バス乗車 [約 15 分]、
「合宿所」下車徒歩 5 分

[約 25 分]

つくばセンター

- つくバス「北部シャトル 3 番乗り場 [筑波山口方面]」
バス乗車 [約 5 分]、「H03 天久保 (筑波実験植物園)」
下車徒歩 1 分
- タクシーで約 7 分

[約 30 分]

[約 30 分]



至上野

至水戸

荒川沖駅

桜土浦 IC

大角豆交差点

つくば JCT

筑波技術大学 (天久保キャンパス)

国立大学法人
筑波技術大学 産業技術学部 学部案内

筑波技術大学

〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp>

[入学試験関係] 聴覚障害系支援課 教務係
TEL 029-858-9328
FAX 029-858-9335

[学生生活・就職関係] 聴覚障害系支援課 学生係
TEL 029-858-9326
FAX 029-858-9335

Publishing:

Faculty of Industrial Technology

Tsukuba University of Technology

4-3-15 Amakubo, Tsukuba-City, Ibaraki 305-8520, Japan



SNS も更新中！
「筑波技術大学」で検索



国立大学法人

筑波技術大学

筑波技術大学のコミュニケーションマークは、大学の成長と発展、ポジティブな拡散を感じられるデザインとなっています。それぞれのオブジェクトは、聴覚障害者にとっての視覚、視覚障害者にとっての聴覚を表現し、二つのオブジェクトの組み合わせで、障害に縛られないコミュニケーションを、また、人とその周囲の社会や環境を表現しました。